

75

パラグアイ共和国
アスンシオン市中央食品卸売市場
改善計画専門家報告書

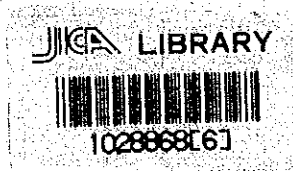
昭和60年10月

国際協力事業団

RY

農開発
J R
85-99

パラグアイ共和国
アスンシオン市中央食品卸売市場
改善計画専門家報告書



昭和60年10月



国際協力事業団

国際協力事業団	
受入 月日 '85.12.27	708
	295
登録No. 12309	ADT

ま え が き

本プロジェクトは、昭和56年12月7日から4年間の協力期間をもって実施中の、アスンシオン市中央食品卸売市場への、近代的市場運営管理技術の導入を目的とした技術協力である。今般、日本人専門家チームのリーダーとして、57年6月から1年4ヶ月にわたり、現地指導にあたった中村喜富氏が帰国された。

本報告書は、同リーダーの帰国報告書であり、主として同卸売市場の運営に必要な諸技術の指導の経緯、市場の基礎統計、市場運営の実施状況、技術的勧告等が述べられており、今後の技術協力の推進に資するものと思われる。

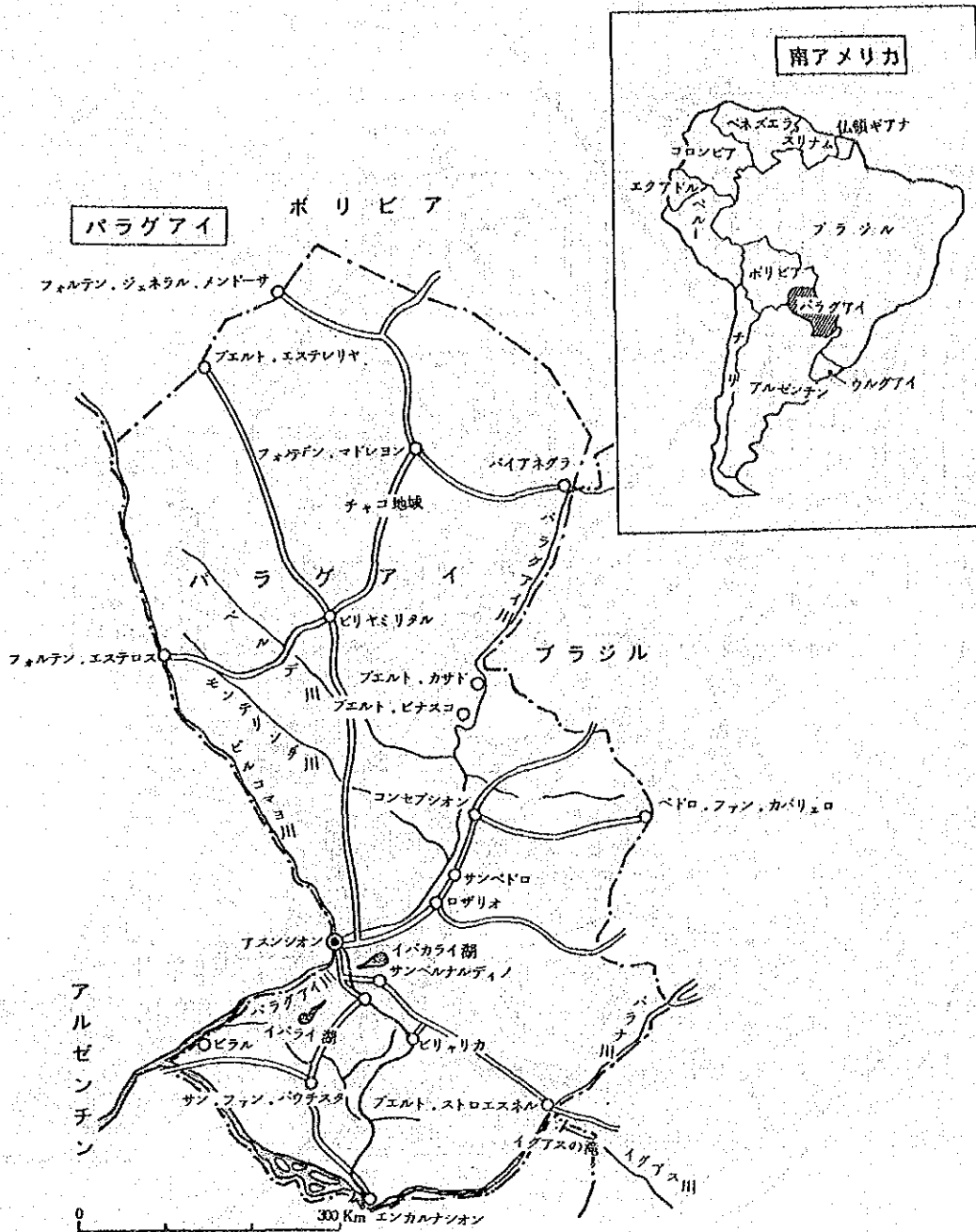
最後に、中村喜富リーダーのパラグァイ国における御指導に衷心より感謝申し上げるとともに、本プロジェクトの運営に全面的御支援をいただいている社団法人食品需給研究センター、外務省、農林水産省関係各位に対し深甚なる謝意を表わすものである。

昭和60年10月

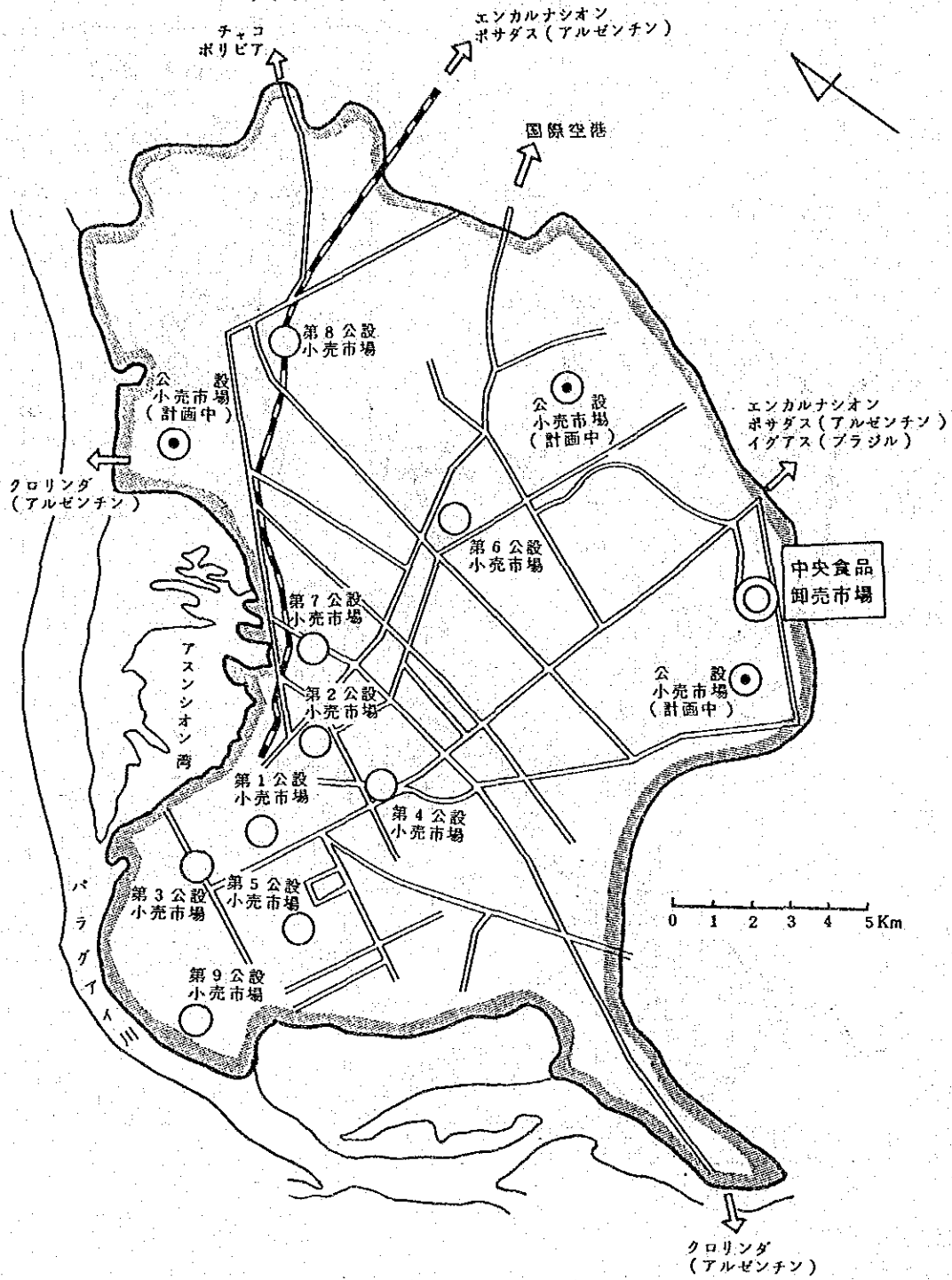
農業開発協力部長

田 内 堯

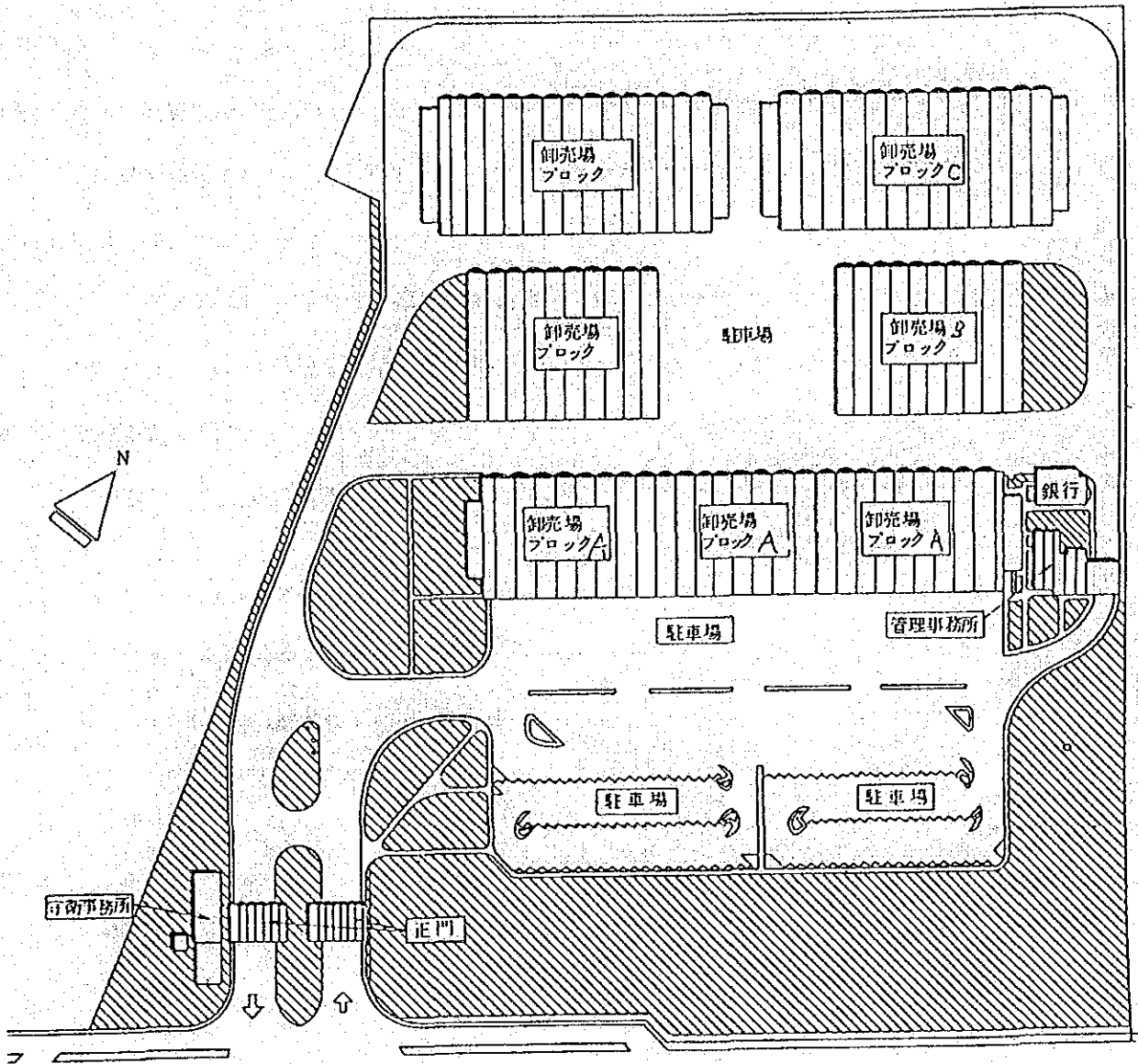
パラグアイ共和国略図とアスンシオン市の位置



アシンスオン市中央食品卸売市場と公設小売市場配置図



アスンシオン中央食品卸売市場配置図



目 次

第1章 総 説	1
第2章 標準建値算出のための技術	6
市場入荷量の把握と処理手順	7
第3章 品質管理技術	42
1. 出荷規格改善の問題点と基本的考え方	43
2. 冷蔵庫の設置経過と利用の効率化	60
第4章 消費者動向調査	78
消費者動向調査の実施経過	78
補-1 市場専用バス運転効率の計測	98
補-2 中央卸売市場機能の充実	106
補-3 市場諸施設の改善策	109

第1章 総 説

1. 協力に至る経緯

アスンシオン市では約35年前に建設した9ヶ所の公設小売市場により、食品流通をまかなって来ていたが、卸売制度を持たずに来ていたため、必然的にこれを行なう者が現われて来た。

これらの者は主として第四公設小売市場周辺にて、営業を行なった為、民営の小売市場もこの近辺に集中することとなった。小売市場の集中は、価格の低さ、品揃えの良さの競い合いを生み、消費者の集中を招いた。この為、この付近は大変混雑するところとなりまた、衛生状態も悪化した。

一方、他の公設市場はこのあおりを受け不振を極め、3ヶ所は休眠状態にまでなっている。

このような不自然な流通を改善する為、市当局はまず、卸売業者を小売業者と分離する為、中央食品卸売市場の設立することとし、世銀の援助を受けつつ1981年これを完成した。

これに先立ち、パ政府は、日本政府に対し食品流通分野における技術協力を要請して来た。

これを受け、事前調査団等、数次に亘る調査団を派遣し協力の可能性を検討して来たが、1981年12月、パ側と協力の内容について合意し、これを討議議事録に取りまとめ、署名を交換した。

2. 協 力 概 要

(1) 協 力 期 間

昭和56年12月7日から昭和60年12月6日まで4年間

(2) 協力の基本計画と専門家の構成

パラグアイ国アスンシオン市中央食品卸売市場の機能の充実及び円滑な運営管理をはかることを目的とし下記事業を行う。

1. 中央食品卸売市場の運営管理に必要な下記項目に関し、指導助言を行う。

(1) 中央食品卸売市場の運営及び管理に関する技術

(全体計画、集荷計画、卸売計画等の作成方法)

(2) 標準建値算出のための技術

(入荷量の把握、統計処理方法等)

(3) 中央食品卸売市場と小売市場との間の情報システムの整備

(4) 品質管理のための技術

(選別技術、格付技術、食品衛生対策等)

2. 中央食品卸売市場の運営に必要な下記の調査・解析技術に関し、指導助言を行う。

(1) 生産・流通に関する物流調査

(2) 消費者動向調査

1. 専門家団長

2. 専門家

(分野)

市場運営管理

流通情報

市場調査

技術協力

(注)

- (1) 上記 2. に記載の専門家については、短期で派遣されることがある。
- (2) 上記 2. に記載の専門家については、他の分野を兼務することがある。
- (3) JIOA は上記 1. の団長 1 名を同 2. の専門家のなかから指命する。
- (4) 機材据付指導等の短期専門家については必要に応じ派遣する。

(3) プロジェクトの実施スケジュール

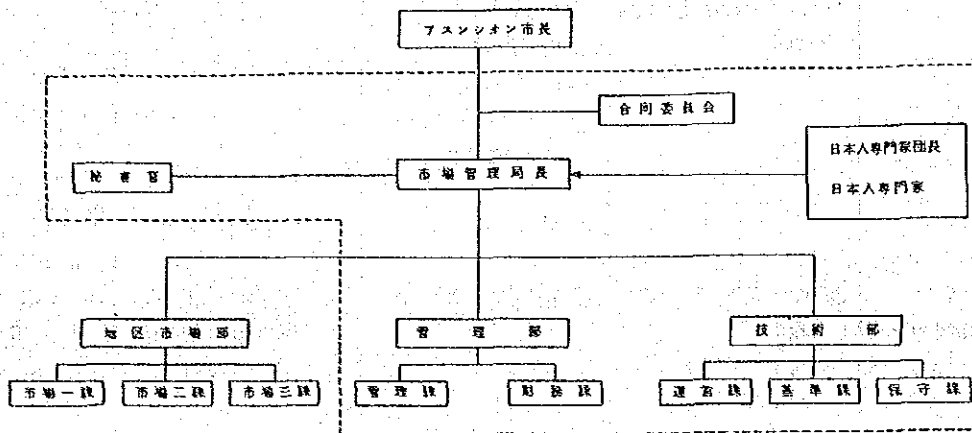
事業内容	年度	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
I 中央食品卸売市場の運営管理に必要な下記項目の指導助言	1. 中央食品卸売市場の運営及び管理に関する技術	(1) 運営計画作成に必要なデータの収集、検討	(1) データに基づくモデルプランの作成 1) 市場管理計画の試作指導 2) 集荷計画の試作指導 3) 卸売計画の試作指導	(1) 運営計画作成の本格的指導と実施 1) 市場管理計画の実施 2) 集荷計画の実施 3) 卸売計画の実施 4) 上記 1) 2) 3) の適応性の検討見直し	(1) 運営計画作成に係る指針の作成
	2. 標準建値の算出のための技術	(1) 統計処理に必要な基礎データの収集、整理 (2) 入荷量調査のための準備(モデル品目の選定、入荷申告カードの作成等) (3) 卸売価格調査 (4) 標準建値委員会の設置 (5) 標準建値算出手順の設定 (6) 初歩的統計処理技術の指導	(1) モデル品目に関する入荷量の調査と把握 (2) マイクロコンピュータの導入 1) 据付 2) 操作方法指導 (3) マイクロコンピュータによる統計処理 1) 基礎統計処理プログラムの試作 2) 建値算出プログラムの試作	(1) 入荷量の調査と把握(モデル品目の拡大) (2) マイクロコンピュータによる統計処理の実施指導 1) 応用統計処理プログラムの設定 2) 建値算出プログラムの適応	(1) 標準建値算出に係る指針の作成 (2) マイクロコンピュータの維持管理に関する指導助言

事業内容	年度	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
3. 中央食品卸売市場と小売市場との間の情報システムの整備		(1) 必要情報事項の設定 (2) 情報伝達範囲(対象小売市場)の設定 (2) 情報伝達の対象品目の選定	(1) 情報(入荷数, 標準値)の試験的揭示(中央食品卸売市場内掲示板)とその細格形成効果の検討, 分析 (2) 中央食品卸売市場及び関連小売市場へのファクシミリの導入 1) 据付 2) 操作方法指導	(1) ファクシミリによる中央食品卸売市場から小売市場への情報伝達システムの確立 (2) 小売市場から中央食品卸売市場への情報連絡システムの確立 (3) 情報伝達対象品目の拡大	(1) 情報システムの選用に係る指針の確立 (2) 外国市況の情報収集に関する助言 (3) ファクシミリの維持管理に関する指導
4. 品質管理のための技術		(1) 品質管理技術の問題点の抽出および検討 (2) 品質管理の基礎的技術の指導	(1) 品質管理技術に関する指導助言 1) 格付技術 2) 選果技術 3) 包装技術 4) 食品衛生知識 5) 冷凍冷蔵技術	同 左	品質管理技術に係る指針の作成
II 中央食品卸売市場の運営に必要な下記の調査, 解析技術の指導助言 1. 生産流通に関する物流調査		(1) 物流に関する問題点の抽出および検討 (2) 物流調査に係る基礎的知識の指導 (3) 調査方法の設定 1) 対象範囲 2) 調査事項	(1) 調査の試験的実施 (2) 調査結果の解析検討	(1) 調査の本格的実施 (2) 調査結果の解析検討 (3) 補足調査の実施	(1) 物流, 消費者動向の調査結果に基づく総合的検討 (2) 上記結果に係る関係機関への報告, 提言
2 消費者動向調査		(1) 消費者動向に関する問題点の抽出および検討 (2) 消費者動向調査に係る基礎的知識の指導 (3) 調査方法の設定 1) 対象範囲 2) 調査事項	(1) 調査の試験的実施 (2) 調査結果の解析検討	(1) 調査の本格的実施 (2) 調査結果の解析検討 (3) 補足調査の実施	(1) 物流, 消費者動向の調査結果に基づく総合的検討 (2) 上記結果に係る関係機関への報告, 提言

(4) プロジェクトの投入計画

	昭和56年12月～ 昭和57年11月	昭和57年12月～ 昭和58年11月	昭和58年12月～ 昭和59年11月	昭和59年12月～ 昭和60年11月	備 考
I 専門家(長期)					
1. 市場運営管理	←		X		
2. 流通情報	←		X		
4. 技術協力	←		X		
II 専門家(短期)	↔	↔	↔	↔	
III 機材	↔	↔	↔		
IV 研修受入れ	毎年2～3名				

(5) 相手の実施体制



この組織は日本の技術協力実施期間中の暫定組織である。

B. バラグアイ綱の措置

	昭和56年12月～ 昭和57年11月	昭和57年12月～ 昭和58年11月	昭和58年12月～ 昭和59年11月	昭和59年12月～ 昭和60年11月	
I 人員					
1. 市場管理局長	←				
2. 日本人専門家が必要 な人員	←				
3. 事務職員	←				

3. 協力の実績

1) 専門家派遣

協力計画上では、署名交換後ただちに4人の専門家を派遣することとなっていたが、主として日本側の諸般の事情により、その実施は遅れ、昭和57年6月に4職(市場調査)と大倉専門家(技術協力)が、又、同年10月に堤専門家(流通情報)が赴任し、とりあへず8名により、実質的協力が開始された。

又、58年1月には加藤専門家(冷蔵庫施設)、59年1月には専門家(品質管理)の2名の短期専門家が派遣された。

2) 研修員受入れ

57年度	2名	生鮮食品流通状況視察	1名
		市場管理	1名
58年度	3名	冷蔵施設管理運営	1名
		コンピュータープログラミング	2名
59年度	3名	小売市場管理	1名
		市場の維持管理	1名

以上7名の日本での研修を行なった。

3) 機材供与

市場専用バス3台、マイクロバス1台、四輪駆動車2台、スクーター5台、ゴミ回収車1台、バキューム車1台、パーソナルコンピューター1台、カードリーダーコンピューター1台、ファクシミリ2台、冷蔵庫(1000 m³)、放送施設、その他事務機品等の供与を行なった。

第2章 標準建値算出のための技術

暫定実施スケジュール（R/D）

年次	内 容 項 目
1 年 次 (1982年)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 統計処理に必要な基礎データの収集, 整理 (2) 入荷量調査のための準備 (モデル品目の選定, 入荷申告カードの作成) (3) 卸売価格調査 (4) 標準建値委員会の設置 (5) 標準建値算出手順の設定 (6) 初歩的統計処理技術の指導
2 年 次 (1983年)	<ul style="list-style-type: none"> (1) モデル品目に関する入荷量の調査と把握 (2) マイクロコンピュータの導入 <ul style="list-style-type: none"> 1) 据付 2) 操作方法指導 (3) マイクロコンピュータによる統計処理 <ul style="list-style-type: none"> 1) 基礎統計処理プログラムの試作 2) 建値算出プログラムの試作
3 年 次 (1984年)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 入荷量調査と把握 (モデル品目の拡充) (2) マイクロコンピュータによる統計処理の実施指導 <ul style="list-style-type: none"> 1) 応用統計処理プログラムの設定 2) 建値算出プログラムの適用
4 年 次 (1985年)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 標準建値算出に係る指針の作成 (2) マイクロコンピュータの維持管理に関する指導助言

市場入荷量の把握と処理手順

1. 入荷量調査のためのモデル品目の選定
2. 入荷量調査と把握
3. 標準建値算出のための入荷量
4. 標準建値委員会（設置と運用）
5. コンピューターによる統計処理技術
 - (1) 入荷量の早期集計
 - (2) 入荷量統計の処理手順
 - (3) 応用統計処理

参 考 資 料

- (1) モデル品目の入荷量（1982～83年）
- (2) 時間帯別入荷量（1983年10月の毎日）
- (3) 荷姿別入荷量（1983年10月分）
- (4) 市場年報（1983年度）
 - イ 総入荷量（月別、品目別）
 - ロ 品目別入荷量・価格（月別）
 - ハ 品目別・産地別入荷量（月別）
 - ニ 産地別・品目別入荷量（月別）
 - ホ 青果物市場取扱高（月別・品目別）

1. 入荷量調査のためのモデル品目の選定

モデル品目の選定は、市場における入荷量の実績検討から始めることとした。この中央卸売市場は1981年10月に開場したが、年間の入荷量実績は1982年が初年度である。このため、モデル品目の選定作業は2年次(1988年)に繰り下げ実施せざるをえなかった。

まず、1982年度のデータに基づいて入荷量の多い品目の順から採用することとした。なお、この基準は年間入荷量1,000トン以上であることも検討した。ただし、品目の重要度を考慮すると、この基準量を若干下回るものもあった(例、レモン、グレープフルーツ)

なお、国内産入荷と国外産入荷については、国内産入荷に重点をおいた。しかし、国外産入荷のなかにも重要度の高いもの(例、ばれいしょ、たまねぎ、みかん、りんご、オレンジ等)は採用することとした。以上の尺度によって選定した品目は、野菜、果実それぞれ10品目である。

1988年間のデータが完成した時点で、さらにこのモデル品目を検討した結果は大差ないものと判断した。たゞ、特記すべきはグレープフルーツの入荷(国内産)が著増した程度であった。

1984年には、モデル品目の拡充について検討を重ねた。年間入荷量は1,000トンを下回ることで、野菜はすべて国内産となり、果実ではナシ(アンゼンチン産)、スモモ、ブドウ、イチゴについては、かなり国外産入荷もある。拡充対象としては野菜の5品目、果実の4品目にとどめた。

さらに、モデル品目の出回り期間(月別)について検討した結果では、以下の主な点が指摘される。

- (1) 出回り期間は原則として年間を通じて出回っていることを条件として国内産、国外産それぞれの入荷を組合わせている。
- (2) 年間入荷しているが、入荷の希小期間(月)がある品目(例、ばれいしょ、たまねぎ等の国内産)
- (3) 年間を通じて入荷あるも、途中で国内産と国外産入荷が交替する品目がある。(例、にんじん、ばれいしょ、たまねぎ、かぼちゃ、みかん、オレンジ、すいか)

以上のことから、入荷量調査-標準建値算出のためのデータとして断層が発生する場合が散見される。これは、建値算出技術上に支障がみられるが、具体的にプログラム設定技術の段階で格別の留意が重要となる。

2. 入荷量調査と把握

市場の入荷量を正確に把握するため、厳重なチェック管理を83年6月から実施した。

その方法は、①トラック等によって産地から場内に搬入する場合、運転手等が持参している「入荷票」を確実に入場の際提出させる。②積載内容の確認を行う。③入荷票の一部は送り先(場内卸売業者)に手渡すことなどである。

このため、市場管理局の入場係員を従来の3名から5名に増員して、24時間勤務体制とした。

モデル品目選定(資料)

(1982~83年平均)

品目	入荷量	国内		国外		
		トン	%	トン	ブラジル	アルゼンチン
1 こんにゃく	8,015	71.7	28.8	7.6	20.7	—
2 かんしよ	6,103	99.9	0.1	0.1	—	—
3 ばれいしよ	6,039	13.2	86.8	27.4	59.4	—
4 たまねぎ	7,788	37.8	62.2	6.1	56.1	—
5 マンジョカいも	45,087	100.0	100.0	—	—	—
6 キャベツ	2,361	76.9	23.1	23.1	—	—
7 レタス	1,968	100.0	100.0	—	—	—
8 トマト	19,330	91.5	8.5	8.4	0.1	—
9 かぼちゃ	2,852	85.8	14.2	14.2	—	—
10 ピーマン	2,733	90.3	9.7	9.6	0.1	—
11 バナナ(カラッペ)	12,762	85.9	14.1	14.1	—	—
12 バナナ(オロ)	3,743	94.3	5.7	5.7	—	—
13 レモン	568	93.8	6.2	1.6	4.6	—
14 みかん	1,616	47.3	52.7	52.7	—	—
15 りんご	1,611	0.1	99.9	0.2	97.9	1.8
16 メロン	1,339	91.2	8.8	8.6	0.2	—
17 オレンジ	17,646	42.8	57.2	57.1	0.1	—
18 パイナップル	4,855	93.9	6.1	6.1	—	—
19 グレープフルーツ	1,039	99.9	0.3	—	0.3	—
20 すいか	2,701	97.7	2.3	2.3	—	—
(追加予定)						
1 ねぎ	232	100.0	100.0	—	—	—
2 きゅうり	322	97.5	2.5	—	—	—
3 なす	84	100.0	100.0	—	—	—
4 そらまめ	333	100.0	100.0	—	—	—
5 とろろこし	1,271	99.5	0.5	—	—	—
6 なし	330	3.9	96.1	—	96.1	—
7 すもも	126	54.8	45.2	11.9	33.3	—
8 ぶどう	204	55.4	44.6	27.0	17.6	—
9 いちご	89	71.9	28.1	28.1	—	—

入荷量調査対象品目一覧

品目・産地	主力入荷の期間											
	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1 にんじん 国産 アルゼンチン	○	—	○					○	—	—	—	○
2 かんしょ 国産	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
3 ばれいしょ 国産 ブラジル	○	○								○	—	○
	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
4 たまねぎ 国産 アルゼンチン	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
	○	○									○	—
5 マンジョカいも 国産	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
6 キャベツ 国産	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
7 レタス 国産	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
8 トマト 国産	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
9 かぼちゃ 国産 ブラジル	○	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○
							○	—	—	○		
10 ピーマン 国産	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
11 バナナ(カラッペ) 国産	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
12 バナナ(オロ) 国産	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
13 レモン 国産	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
14 みかん 国産 ブラジル			○	—	—	—	○					
							○	—	—	○		
15 りんご 国産 アルゼンチン	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
16 メロン 国産	○	—	—	○							○	○
17 オレンジ 国産 ブラジル				○	—	—	—	—	—	○		
	○	—	—	—	○			○	—	—	—	○
18 パイナップル 国産	○	—	○						○	—	—	○
19 グレープフルーツ 国産			○	—	—	—	—	—	○			
20 すいか 国産	○	—	○								○	○

入 荷 票

アスンシオン市
中央食品卸売市場

国 内 (県)	1	コンセプション	6	カ ッ サ バ	11	セ ン ト ラ ル	国 外	コ ー ド 番 号	
	2	サン・ペドロ	7	イ タ プ ア	12	ヌ エ ン プ ク			
	3	コルディジェラ	8	ミ シ オ ネ ス	13	ア マ ン バ イ	16		ブ ラ ジ ル
	4	グ ア イ ラ	9	パ ラ グ ア リ ー	14	カ ネ ン デ ィ ジ	17		ア ル ゼ ン テ ン
	5	カ ー グ ア ス	10	ア ル ト ・ パ ラ ナ	15	チ ャ コ	18		チ リ ー

店 輔 No _____

棟 → A . B . C . D . E . F

産 地	品 名	品 種 等	荷 姿	数 量	換 算 (Kg)

- <注> (1) 産地名を記入し、その属する県(1~15)及び国(16~18)のそれぞれ番号数字を○にて囲む。
 (2) 搬入先店輔の棟のA……Fを○で囲む。
 (3) 換算は荷姿別に、別に定めた統一数量を乗ずる。
 (この処理は回収した後、担当者が行う)
 (4) 1部は搬送先(店輔)用である。

(注) 入荷票には予め所定事項(産地、品名、荷姿、数量等)を記入することとなっているが、実際には入場門で記入するものが多い。もっとも混載している場合は少なく、かなりの部分は単品の積荷であるので記入は簡単である。特に留意すべきは産地(名)の所属する県名とが一致しているか照合することである。さらに荷姿別数量の換算を担当者において確実に行わなければならない。(実例では誤りが散見される)

特に、夜間の午後10時から翌朝の午前3時頃までの搬入は相当混雑するので2名常駐させる夜勤体制を確立した。

なお、開始当初には毎日の実施結果について、つぎのような問題点も指摘された。

- (1) 国外産品は、この国では殆んどが制度的には“密輸”である。これを扱っている業者のトラックの入場が屢々見逃がされ易い。裏がえせば強引なまでに入場し入荷票を手交せず、場内を一巡（場内に荷主はない）し出場サインを求めて場外に逃亡し営業を営む類も屢々みられ、この悪質で無断入場に等しいもの入荷票の受領には一部困難性もみられたが、より厳重なチェックによる完全管理をとった。
- (2) 入場の際の入荷票を係員が受領する場合、特に夜間の入荷ピーク時にまぎれて素通りする者。また、故意に入荷票を渡さずに入場する者もみられる。しかし、これらは全体的にみた場合、量的には左程ではないが、個々の品目にとってはかなりのものとなろう。場内の業者からも徹底的に監視体制の強化を提言されている。
- (3) 入荷票はコンピューター集計するものとして従前のものを改正した。したがって、搬入業者（卸売業者が市場管理局より随時購入しているものから配布されている）が旧票を使用し記入したものが開始当初はかなりみられた。これはコンピューターの入力作業に若干の支障を生じたこともあった。

3. 標準建値算出のための入荷量

ここでいう入荷量は「本日入荷量」をいう。厳密には前日の午後6時から翌日（本日）の午前6時までである。ところが場内の卸売業者は午前3時をもって一斉に営業を開始している。したがって当日の営業販売に対象する「本日入荷量」を基礎データとして「標準建値」を公表するには、遅くとも午前3時までのデータとせざるをえない。実際は締切った時刻から30分後の午前3時半頃に公表することとなる。（注、この30分はコンピューターによる品目別集計と標準建値算出に要する時間である）

しかし、午前3時を過ぎ4時近くが営業の最盛間きわである。したがって、営業開始の午前3時に間に合うようにするためには午前2時に締切らねばならない。この場合の入荷量と午前3時の場合との検照を1983年10月の毎日に、対象20品目について実施した。

午前2時及び3時に締切った時点の入荷量が、午前6時までの全日量に占める割合をみると、午前2時までには野菜は全日量の72%、果実は90%の入荷であるが、1時間後の3時になると野菜は90%、果実は84%まで増えてくる。品目別に特記すべきはレタス及びマンジョカイもである。午前2時から3時までの入荷増がけん著である。午前3時までには90%以上あった日数はレタス19日、マンジョカイもでは11日（10月の入荷日数はいずれも26日であった。）。

このように、午前3時までの入荷量はほとんどの品目で90~95%となる。したがって全日量

時間帯別入荷量（1988年10月分）

品目	入 荷 量			占 有 率	
	A	B	C(全日量)	A/C	B/C
(野菜)	Kg	Kg	Kg	(72.1) %	(90.0) %
1 かんしょ	154,280	177,310	196,850	78.6	90.3
2 たまねぎ	508,950	510,210	528,510	96.3	96.5
3 レタス	95,803	140,526	165,142	61.8	90.6
4 マンジョカいも	2,629,420	3,784,410	4,418,910	59.5	85.6
5 ばれいしょ	418,000	440,200	462,450	90.4	95.2
6 ピーマン	186,434	207,812	216,237	86.2	96.1
7 キヤベツ	218,302	238,012	245,268	89.0	97.0
8 トマト	1,248,920	1,376,980	1,464,140	85.3	94.0
9 にんじん	276,171	294,173	305,441	90.4	96.3
10 かぼちゃ	277,855	340,905	350,755	80.9	97.2
(果実)				(89.6)	(94.1)
1 バナナ(カラッペ)	1,131,153	1,167,768	1,201,548	94.1	97.2
2 バナナ(オロ)	281,412	239,632	310,398	90.7	93.3
3 レモン	19,110	20,170	21,370	89.4	94.4
4 みかん	71,375	72,185	77,350	92.3	93.3
5 りんご	45,320	45,320	47,806	94.8	94.8
6 メロン	15,800	16,600	18,600	84.9	89.2
7 オレンジ	1,731,341	1,846,991	2,003,573	86.4	92.2
8 パイナップル	87,597	98,531	101,833	86.0	96.8
9 グレープフルーツ	46,270	46,270	46,270	100.0	100.0
10 すいか	18,565	19,265	19,615	94.6	98.2

<注> 1) A…前日午前6時から本日午前2時まで

B… “ 3時まで

C… “ 6時まで

2) 全日量(C)に占める午前2時(A)と3時(B)のそれぞれ比率 — 占有率。

により近似値ということで午前8時までの入荷量とした。

ただ、実際に本日の入荷及び標準建値の利用について、営業開始前に公表することがもっとも理想的である。この時間的ズレの解消策は、営業時間を午前4時に変更し、1時間ズラすことである。

しかし、現行の午前3時ということで協定した時点では、従前の午前2時頃から営業を始めていた業者などもあったのが、協議を重ねやっと3時とすることで合意に漕ぎ着けた経緯もありしたが、なお1時間ズラすにはさらに合意を重ねることが重要となる。

(本日入荷量の公示)

以上みたように本日の入荷量は、本日の午前3時までであり、午前6時までの全日量ではない。つまり全日量の90～95%の入荷量であるので、販売開始時刻に接近する最大限度で、かつ早期に公示するものである。したがって利用上ではさしたる問題はないだろうと判断している。

つぎに、品目の表示単位の問題がある。対象の20品目のうち一つの荷姿に統一されているもの

荷姿別入荷量割合

(%)

	計	箱	袋	束	ダース	筒	房	組
1 かんしょ	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—
2 たまねぎ	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—
3 レタス	100.0	10.1	—	41.7	48.2	—	—	—
4 マンジョカいも	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—
5 ばれいしょ	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—
6 ピーマン	100.0	28.5	71.5	—	—	—	—	—
7 キャベツ	100.0	12.5	87.5	—	—	—	—	—
8 トマト	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—
9 にんじん	100.0	8.6	90.4	—	1.0	—	—	—
10 かぼちゃ	100.0	—	84.5	—	—	15.5	—	—
11 バナナ(カラッペ)	100.0	81.7	—	—	5.3	—	13.0	—
12 バナナ(オロ)	100.0	24.1	—	—	38.7	—	37.2	—
13 レモン	100.0	—	64.6	—	—	34.4	—	—
14 みかん	100.0	73.1	1.7	—	—	25.2	—	—
15 りんご	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—
16 メロン	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—
17 オレンジ	100.0	2.3	2.7	—	—	95.0	—	—
18 パイナップル	100.0	50.5	—	—	—	—	—	49.5
19 グレープフルーツ	100.0	5.6	11.9	—	—	82.5	—	—
20 すいか	100.0	—	—	—	—	100.0	—	—

(かんしょ、たまねぎ、マンジョカいも、ばれいしょ、トマト、りんご、メロン)以外の品目の荷姿は2~3となっている。これら複数の荷姿があるものは、統計的にはkg換算によって「kg」単位で表示するのが通例である。しかし、ズバリ本日の入荷量はどうかをみると、やはり長年にわたって定着している荷姿別入荷量として公示することとした。なお、前日入荷との動きをみるのが重要であるので、前日入荷量を併記する。

(標準建値の公示)

標準建値は「ガラニー」で表示するが、入荷量の場合と同じように、荷姿単位の価格が一般的ではある。したがって荷姿別価格で表示するもの以外はすべて「kg」単位の価格で公示することとする。

また、計算された理論値-標準建値としては、「基準」値のほか「上限」と「下限」の幅まで公示し、利用上の参考としている。

以上の入荷量と標準建値の公示は、例外なく毎日午前3時30分までに、A棟中央口の黒板に掲示する。

4. 標準建値委員会(設置と運用)

標準建値委員会の設置は、入荷量の把握及び卸売価格調査データの検討のためと、標準建値算出手順等の遅れもあって3年次となった。設置目的及び委員構成はつぎの通りである。

(目的)

中央食品卸売市場の開場にともない、それまで市内各所で生鮮食料品の卸売業を営んでいた卸売業者の全員を収容して公正な取引を進めることとした。現在、中央食品卸売市場で営業を許可された青果物関係の卸売業者は200余社ある。

これらの卸売業者は、これまでは個別に営業していたため、卸売価格は仕入れ、販売による各店が経験的に決定して、小売人と相対の方法で取引していた。現在でもこの方法であるが、一部の業者間では毎日の卸売価格を協議(特に日系3社)して決めている。しかし、これとても卸売業者の立場のみが追求され生産者と消費者の立場が考慮されない方向に発展する可能性がひそんでいる。

そこで、市場管理局が指導監督して、公正な取引のため正確な入荷量と取引価格の調査データから「標準建値」を決定し、需給を反映した公正な卸売価格を形成させる必要がある。

(委員の構成)

- (1) この委員会の総括管理者は、市場管理局長である。
- (2) この委員会の委員は、市長が任命する。
- (3) 委員の構成は、つぎの通りである。

- ① 市場内の卸売業者4~5名
- ② 公設小売市場の代表者1~2名

掲 示 用

入荷量と標準建値

198 年 月 日

品 目	荷 姿	入 荷 量		標準建値(ガラニー)			
		前 日	本 日	(単 位)	下 限	基 準	上 限
1 か ん し ゚	袋			(K)			
2 た ま ね ぎ	々			(K)			
3 レ タ ス	東箱			(K)			
	ダース						
4 マ ン ジ ョ カ い も	袋			(K)			
5 ば れ い し ゚	々			(K)			
6 ピ ー マ ン	々						
	箱						
7 キ ャ ベ ッ	袋			(K)			
	箱						
8 ト マ ト	々			(箱)			
9 に ん じ ん	々						
	袋			(K)			
10 か ぼ ち ゃ	ダース						
	袋			(袋)			
11 バ ナ ナ (カ ラ ッ ペ)	筒						
	箱			(箱)			
12 バ ナ ナ (オ ロ)	房						
	ダース			(ダース)			
13 レ モ ン	箱						
	房			(ダース)			
14 み か ん	ダース						
	袋			(100筒)			
15 り ん ご	筒						
	袋			(100筒)			
16 メ ロ ン	箱			(箱)			
	筒			(K)			
17 オ レ ン ジ	袋						
	箱			(100筒)			
18 パ イ ナ ッ プ ル	筒						
	箱			(箱)			
19 グ レ ー プ フ ル ー ツ	組			(組)			
	袋						
20 す い か	箱			(100筒)			
	筒						
20 す い か	々			(箱)			

- ③ 生産者の代表 1～2名
- ④ 学識経験者（中立委員）1～2名
- ⑤ 市場管理局職員 3～5名

市場管理局長は委員長を兼ねるものとする。

（事務局）

この委員会の事務局は、市場管理局に置くこととし、委員会に係わる諸資料の作成、建値の計測及び公示などの業務を処理する。

（委員会の開催）

第1回の委員会は1984年5月28日に開催し議題はつぎの通りであった。

1. 標準建値委員会の設立について
2. 委員の委嘱について
3. 入荷量の確定（午前3時まで）
4. 入荷量と標準建値の公示（毎日午前3時半，A棟）
5. その他（市場統計等）

次回の委員会では、具体的に建値について検照することを申合わせた。（第2回委員会は諸般の事情から10月まで開催されていない）

標準建値委員会（委員名簿）

1984年5月現在

	No		
委員長	1	MIGUEL A. LOPEZ	市場管理局長
卸売業者	2	FREDDY LIMPRICH	国外産果実関係
〃	3	ISMAEL ROJAS	バナナ業者
〃	4	ALCIBIADES ACUÑA DIAZ	ばれいしょ、たまねぎ
〃	5	ISIDRO MAIDANA	野菜全般
〃	6	NISHIKAWA（西川）	〃（農協中央会）
小売業者	7	PRIMITIVO GONZALES	果実
〃	8	TEODOCIA DE CHAVEZ	野菜
生産者	9	NAGAOKA（長岡）	〃
〃	10	（欠）	果実
学識経験者	11	NERY ROJAS	農牧省
〃	12	ALEX CUEVAS	農業改良普及公団
事務局	13	GERARDO LOPEZ	市場管理局（技術部長）
〃	14	JOSE PANGRAZTO	〃（コンピューター）
〃	15	TELESITA DE SCARONE	〃（〃）
〃	16	PEDRO CACERES	〃（統計課）
〃	17	CARLOS MARTINEZ	〃（第4公設小売市場）

標準建値の検照表

()内は荷姿単位 (ガラニー)

日	曜	天候	かんしょ (Kg)		たまねぎ (Kg)		レタス (Kg)		マンジョかいも (Kg)		ばれいしょ (Kg)	
			建値	実績	建値	実績	建値	実績	建値	実績	建値	実績
(月)												
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												

以下、対象の15品目も同じである。

5. コンピューターによる統計処理技術

(1) 入荷量の早期集計

毎日の入荷量を早期に把握するためにはコンピューターによる集計が不可欠である。特に午前3時までの入荷量を品目別に出力させることで、これがもっともスピードを要することである。このための具体的処理はつぎのようである。

すなわち、入場門での「入荷票」の回収と、コンピューターに入力する作業分担を別々に行うことである。受領した入荷票を審査し、換算数量の算出及び産地ナンバーの確認第1件ごとにスピーディーに処理しなければならない。また、コンピューターへの入力は、前日の午前6時から12時までの分を一括処理しておく。さらに、午前0時から3時までの分は扱い件数が急増するので3～4回に分散して審査し、入力する方法がもっとも効率的と考えている。

このような作業が深夜に集中するため、これに対応した夜間勤務特別措置が必要となってくる。しかし、この国の慣行としては厳密なものとはなり得ないので担当者の人選には相当無理したが、ともかく入場門要員（入荷票受領及びチェック）及びコンピューター特別従事員と合わせて6名を相手側と協議して確保し実施に踏みきった。これは1983年6月1日からで、当初は試験的段階でもあった。しかし、その後の経過では、特に深夜勤務のコンピューター要員に支障（主に健康上）を生じ勤務員の交替を余儀なくされたことが屢々であった。このため業務が一時的ではあったが停滞した。もっとも試行期間でもあったので差支えなかったが、本番に乗った場合、一日

（統計作成手順）

種 別	発表時期	内 容
(I) 日 報	毎日午前8時	午前3時までの入荷量 標準建値算出データ（特定20品目） 午前3時～6時までの入荷量 本日内入荷量（全品目） 表示 — 品目別に国内及び国外入荷量
(II) 月 報	毎翌月5日	表示 — ① 日別入荷量（野菜、果実別） ② 品目別・産地別入荷量 （国内、15県 国外、ブラジル、チリ、アルゼンチン）
(III) 年 報	毎翌年3月	表示 — ① 総入荷量（野菜、果実別） ② 品目別入荷量・価格 ③ 品目別・産地別入荷量 ④ 産地別・品目別入荷量 ㊦ 青果物市場取扱高
㊦ 市場取扱高	毎翌年3月	表示 — 入荷量(t)と取扱高(GS)（月別、品目別）

たりとも許せないだけに、勤務体制の確立には格別の配慮が必要となってくる。

(2) 入荷量統計の処理手順

コンピューターによる統計処理は、当面左記の通り入荷量（日報、月報、年報）と市場取扱高（ガラニーで表示する）とする。

(3) 応用統計処理

処理プログラムの設定を検討し①給料計算、②経理事務等の指導にスタートした。

（市場年報）

取りまとめ方法

(1) 入荷量の把握

入荷量は中央卸売市場の入場門段階で入場した数量である。

この入荷量の把握は、市場管理事務所の職員が、毎日入場門で車輛等によって搬入される品について品名、数量及び産地等を記入した入荷票（一部は場内の卸売業者用）を受けとる。この入荷票から品目ごとの日計、月計をコンピューターで集計したものである。

(2) 価格の算出

産品ごとの価格は、市場管理事務所の職員が予め指定した卸売業者について、実際に販売した卸売価格を毎日ききとり調査する。この毎日の価格を月集計し、月間取引日数で除した単純月平均価格とした。しかし、取引きの希小品目等については、可能な限り入荷量による加重平均価格を算出した。

なお、国内及び国外の平均価格は、次式によって算出した加重平均価格である。

$$\frac{(\text{国内入荷量} \times \text{価格}) + (\text{国外入荷量} \times \text{価格})}{\text{総 入 荷 量}} = \text{Kg 当たり 平均 価格}$$

入荷量：Kg

価 格：Kg 当たり ガラニー

(3) 統計表の表示

入荷量は国内入荷と国外入荷に区分し、国内入荷は産地県別（15県）に、国外入荷はブラジル、アルゼンチン、チリーの3国別に表示する。

なお、入荷あるも数量が少ないので価格を調査してないものは「…」で表示する。

(4) 青果物市場取扱高

中央卸売市場で卸売業者が取扱った卸売販売額である。しかし、実際に販売した卸売額は把握していないので、この場合、便宜的に入荷量に価格を乗じて求めた概算額である。

(I) 日 報

以下はとりまとめ様式である

品目別入荷量

(Kg)

品 目	国 内		合 計
	国 内	国 外	
1 ふ だ ん そ う			
2 に ん に く			
3 セ ロ リ ー			
4 さ や え ん ど う			
5 か ん し ゚			
6 な す			
7 せ り			
8 ブ ロ ッ コ リ ー			
9 カ ラ バ サ			
10 た ま ね ぎ			
11 ね ぎ			
12 さ さ げ			
13 生 と う も ろ こ し			
14 カ リ フ ラ ウ ー			
15 ち し ゃ			
16 ほ う れ ん そ う			
17 え ん ど う			
18 レ タ ス			
19 マ ン ジ ョ かい も			
20 だ い こ ん			
21 は つ か			
22 き ゆ う り			
23 パ セ リ ー			
24 ビ ー マ ン			
25 い ん げ ん			
26 そ ら ま め			
27 か ぶ			

つづき

(Kg)

品 目	国 内		合 計
	国 内	国 外	
28 て ん さ い			
29 キ ャ ベ ツ			
30 ト マ ト			
31 に ん じ ん			
32 小 か ぼ ち ゃ			
33 か ぼ ち ゃ			
計 (野菜)			
1 ア ボ ガ ド			
2 バ ナ ナ (カラッペ)			
3 バ ナ ナ (オロ)			
4 す も も			
5 も も			
6 い ち じ ょ			
7 レ モ ン			
8 パ イ ヤ ン			
9 み か ん			
10 り ん じ ょ			
11 メ ロ ン			
12 オ レ ン ジ			
13 な し			
14 バ イ ナ ッ プ ル			
15 グ レ ー プ フ ル ー ツ			
16 す い か ず			
17 ぶ ど う			
計 (果実)			
合 計			

II 月 報

(1) 日別入荷量

(Kg)

日 曜	野 菜		合 計
	野 菜	果 実	
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

つづき

(Kg)

日 曜	野 菜		合 計
	野 菜	果 実	
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
合 計			

(2) 品目別・産地別入荷量

(Kg)

品目	コン セブ シオン	サン ・ペ ドロ	コ ル デ イ シ エ ラ	グ ア イ ラ	カ ー グ ア ス	カ ツ サ パ	イ タ プ ア	ミ シ オ ネ ス	パ ラ グ ア リ ー	ア ル ト ・ パ ラ ナ	セ ン ト ラ ル	ヌ エ ン ブ ク	ア マ ン バ イ	カ ネ ン デ イ ジ	チ ヤ コ	国 外			合 計	国 内	国 外	
																ブ ラ ジ ル	ア ル ゼ ン チ ン	チ リ ー				
1	ふ	だ	ん	そ	う																	
2	に	ん	に	り	く																	
3	セ	ロ	に	り	ー																	
4	さ	や	え	ん	ど																	
5	か	な	ん	し	よ																	
6	な	せ			す																	
7	セ	ブ	ロ	ッ	コ																	
8	カ	ラ	マ	ネ	リ																	
9	カ	ダ	マ	ネ	サ																	
10	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
11	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
12	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
13	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
14	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
15	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
16	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
17	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
18	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
19	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
20	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
21	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
22	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
23	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
24	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
25	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
26	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
27	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
28	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
29	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
30	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
31	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
32	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
33	カ	ダ	マ	ネ	ギ																	
	計	(野	菜)																			
1	ア	ボ	ガ	ド																		
2	バ	ナ	ナ	(カ	ラ																	
3	バ	ナ	ナ	(オ	ロ)																	
4	す	も	も																			
5	も																					
6	い	ち	も	ン																		
7	レ	モ																				
8	パ	パ	イ	ヤ																		
9	み	か	ん	ン																		
10	り	ん	ン																			
11	メ	ロ	ン																			
12	オ	レ	ン																			
13	な																					
14	パ	イ	ナ	ッ	ル																	
15	グ	レ	ー	フ	ル																	
16	す	い	か																			
17	ぶ	ど	か																			
	計	(果	実)																			
合	計																					

品目別はスペイン語の頭文字A, B, C……の順に配列した。

III 年 報

1. 総入荷量

(1) 月 別 (Kg)

月	合計		国内	国外
合計				
1 月				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
野菜月				
1 月				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
果実月				
1 月				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

(2) 品目別 (Kg)

品 目	合計		国内	国外
1 だいこん				
2 かぶ				
3 にんじん				
4 かんしょ				
5 ばれいしょ				
6 たまねぎ				
7 てんさい				
8 マンジョかいも				
9 さといも				
10 キャベツ				
11 ほうれんそう				
12 ねぎ				
13 レタス				
14 パセリー				
15 セロリー				
16 カリフラワー				
17 ブロッコリー				
18 ふだんそう				
19 ちしや				
20 せり				
21 にんにく				
22 きゅうり				
23 なす				
24 トマト				
25 カラバサ				
26 かぼちゃ				
27 小かぼちゃ				
28 ピーマン				
29 ささげ				
30 そらまめ				
31 いんげん				
32 さやいんげん				
33 さやえんどう				

つづき (Kg)

品 目	合計		国内	国外
34 とうもろこし				
35 らっかせい				
36 はっか				
37 シラントロ				
(果実)				
1 みかん				
2 オレンジ				
3 レモン				
4 グレープフルーツ				
5 ぼんかん				
6 バナナ(カラッペ)				
7 バナナ(オロ)				
8 りんご				
9 なし				
10 アボガド				
11 もも				
12 すもも				
13 西洋すもも				
14 びわ				
15 ぶどう				
16 いちご				
17 パパイア				
18 バイナップル				
19 メロン				
20 すいか				

2. 品目別入荷量・価格

品目() 入荷量: Kg 価格: GS

年 月	入荷量	国 内		国 外		価 格	国 内		国 外	
1982										
1983										
1984										
1985										
1985. 1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										

品目(44)

だいこん, かぶ, にんじん, かんしょ, ばれいしょ
 たまねぎ, てんさい, マンジョカいも(8)
 キャベツ, ほうれんそう, ねぎ, レタス, パセリー,
 セロリー, カリフラワー, ふだんそう, せり, にんにく(10)
 きゅうり, なす, トマト, かぼちゃ, 小かぼちゃ
 ピーマン(6)
 ささげ, そらまめ, さやえんどう, 生とうもろこし(4)
 みかん, オレンジ, レモン, グレープフルーツ(4)
 バナナ(カラッペ), バナナ(オロ), りんご, なし,
 もも, すもも, ぶどう, いちご, パパイア,
 パイナップル, メロン, すいか(12)

3. 産地別入荷量

産地() (Kg)

年 月	(1)	野 菜		果 実	
1982					
1983					
1984					
1985					
1985. 1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					

産地(18)

- | | |
|-------------|--------------|
| (1) コンセプション | (2) サン・ペドロ |
| (8) コルディシエラ | (4) グアイラ |
| (5) カーグアス | (6) カッサパ |
| (7) イタプア | (8) ミシオネス |
| (9) パラグアリー | (10) アルト・パラナ |
| (11) セントラル | (12) ヌエンブク |
| (13) アマンバイ | (14) カネンディジ |
| (15) チャコ | (以上国内) |
| (16) ブラジル | (17) アルゼンチン |
| (18) チリー | (以上国外) |

4. 品目別・産地別入荷量

品目() (Kg)

産 地	合計	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		合 計	{ 84 85										
(1) コンセプション	{ 84 85												
(18) チ リ	{ 84 85												

5. 産地別・品目別入荷量

産地() (Kg)

品 目	合計	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		(1) だいこん	{ 84 85										
(2) か ぶ	{ 84 85												

(付) 市場取扱高表(1985年)

(1) 月 別 (1,000 ガラニー)

月	合 計		国 内	国 外
合 計				
1 月				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
野 菜				
1 月				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
果 実				
1 月				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

(2) 分類別 (1,000 ガラニー)

区 分	合 計		国 内	国 外
数 量 (トン)	合 計			
	野 菜			
	根 菜			
	葉 菜			
	茎 菜			
	果 菜			
	ま め			
	果 実			
	かんきつ			
	バナナ その他			
取 扱 高 (一、〇〇〇ガラニー)	合 計			
	野 菜			
	根 菜			
	葉 菜			
	茎 菜			
	果 菜			
	ま め			
	果 実			
	かんきつ			
	バナナ その他			
平 均 価 格 (kg当たり)	合 計			
	野 菜			
	根 菜			
	葉 菜			
	茎 菜			
	果 菜			
	ま め			
	果 実			
	かんきつ			
	バナナ その他			

(3) 品目別

品目	入荷量 (トン)			取扱高 (ガラン)			価格(ガラン/kg)		
	1983	84	85	1983	84	85	1983	84	85
(野菜)									
1	だいこん								
2	かぶ								
3	にんじん								
4	かんしょ								
5	ばれいしょ								
6	たまねぎ								
7	てんさい								
8	マンジョカイモ								
9	キャベツ								
10	ほうれんそう								
11	ねぎ								
12	レタ								
13	パセリ								
14	セロリ								
15	カリフラワー								
16	ふだんそうり								
17	せり								
18	にんにく								
19	きゅうり								
20	なす								
21	トマト								
22	かぼちゃ								
23	小かぼちゃ								
24	ピーマン								
25	さきげ								
26	そらまめ								
27	いんげん								
28	えんどう								
29	さやえんどう								
30	とうもろこし								
(果実)									
1	みかん								
2	オレンジ								
3	レモン								
4	グレープフルーツ								
5	バナナ(カラッペ)								
6	バナナ(オロ)								
7	りんご								
8	なし								
9	もも								
10	すもも								
11	ぶどう								
12	いちご								
13	パイナップル								
14	パイナップル								
15	メロン								
16	すいか								

参 考 資 料

(1) モデル品目の入荷量 (1982~83年)

単位:トン

品 目	1982年					1983年				
	計	国内	国外	ブラジル	アルゼンチン	計	国内	国外	ブラジル	アルゼンチン
1 にんじん	3,318	2,094	1,224	303	920	2,712	2,228	484	152	332
2 かんしょ	6,540	6,529	11	11	-	5,666	5,666	-	-	-
3 ばれいしょ	7,537	965	6,572	2,199	4,373	4,541	629	3,912	1,106	2,806
4 たまねぎ	9,188	3,555	5,628	28	5,600	6,393	2,339	4,054	925	3,128
5 マンショかいも	43,151	43,151	-	-	-	47,022	47,022	-	-	-
6 キャベツ	2,085	1,634	451	451	-	2,636	1,998	638	636	2
7 レタス	2,434	2,434	-	-	-	1,502	1,502	-	-	-
8 トマト	19,761	19,220	541	533	8	18,893	16,162	2,736	2,705	31
9 かぼちゃ	2,400	2,364	36	36	-	3,304	2,527	777	777	-
10 ピーマン	2,911	2,785	126	124	2	2,554	2,149	405	404	1
11 パナナ(カラッペ)	13,285	9,710	3,575	3,575	-	12,239	12,214	25	25	-
12 パナナ(オロ)	3,274	2,857	417	417	-	4,211	4,205	6	6	-
13 レモン	626	579	47	6	41	509	437	21	11	10
14 みかん	1,334	535	799	799	-	1,897	993	904	904	-
15 りんご	1,972	-	1,972	6	(57) 1,909	1,249	2	1,247	1	1,246
16 メロン	1,405	1,297	109	107	2	1,373	1,238	135	133	2
17 オレンジ	14,437	5,582	8,856	8,831	25	20,855	9,531	11,314	11,298	16
18 パイナップル	5,678	5,557	121	121	-	4,031	3,561	470	470	-
19 グレープフルーツ	775	775	-	-	-	1,303	1,297	6	-	6
20 すいか	3,030	2,969	61	61	-	2,372	2,308	64	64	-
(追加予定)		りんご()内はチリー								
1 ねぎ	221	221	-	-	-	243	243	-	-	-
2 きゅうり	360	348	12	12	-	283	279	4	4	-
3 なす	83	82	1	1	-	85	85	-	-	-
4 そらまめ	328	328	-	-	-	337	337	-	-	-
5 とうもろこし	1,269	1,269	-	-	-	1,272	1,261	11	11	-
6 なし	413	23	390	-	390	247	2	245	-	245
7 すもも	215	118	97	22	75	37	20	17	7	10
8 ぶどう	250	116	134	74	60	157	110	47	36	11
9 いちご	86	70	16	16	-	91	57	34	33	1

(2) 時間帯別入荷量(1983年10月の毎日)

A……前日の午前6時から本日の午前2時までの入荷量

B……〃 〃 〃 3時までの入荷量

C……全日量はさらに午前6時までの入荷量 (以下すべて同じ)

(野菜の部)

日・曜	1 か ん し ょ					2 た ま ね ぎ				
	入 荷 量		全日量	入 荷 率		入 荷 量		全日量	入 荷 率	
	A	B	C	A/C	B/C	A	B	C	A/C	B/C
(10月)	Kg	Kg	Kg	%	%	Kg	Kg	Kg	%	%
1 土	3,780	3,780	3,780	100.0	100.0	42,870	42,870	42,870	100.0	100.0
2 (日)										
3 月	3,680	3,680	9,380	92.5	92.5	9,300	9,300	9,300	100.0	100.0
4 火	3,010	3,500	3,500	86.0	100.0	34,350	34,350	34,350	100.0	100.0
5 水	1,190	1,190	1,190	100.0	100.0	10,500	10,500	10,500	100.0	100.0
6 木	1,050	1,050	1,050	100.0	100.0	34,200	34,200	34,200	100.0	100.0
7 金	—	—	—	—	—	8,400	8,400	8,400	100.0	100.0
8 土	2,870	2,870	2,870	100.0	100.0	23,160	23,160	23,160	100.0	100.0
9 (日)										
10 月	5,460	5,460	14,210	38.4	38.4	6,600	6,600	6,600	100.0	100.0
11 火	1,190	1,190	1,190	100.0	100.0	1,200	1,200	1,200	100.0	100.0
12 水	1,260	7,070	7,070	17.8	100.0	17,100	17,100	18,000	95.0	95.0
13 木	10,570	10,570	10,570	100.0	100.0	1,290	2,190	2,190	58.9	100.0
14 金	6,510	6,510	6,510	100.0	100.0	10,440	10,680	10,680	97.8	100.0
15 土	4,690	9,590	9,590	49.0	100.0	17,250	17,250	17,250	100.0	100.0
16 (日)										
17 月	17,780	17,780	18,900	94.1	94.1	17,880	17,880	17,880	100.0	100.0
18 火	1,750	2,100	2,100	83.3	83.3	18,750	18,750	18,750	100.0	100.0
19 水	1,120	1,120	1,120	100.0	100.0	22,800	22,800	22,800	100.0	100.0
20 木	7,140	11,340	11,340	63.0	100.0	53,400	53,400	53,400	100.0	100.0
21 金	11,620	11,620	14,910	77.9	77.9	26,910	27,000	34,500	78.0	78.8
22 土	2,100	2,100	2,100	100.0	100.0	21,210	21,210	25,410	83.5	83.5
23 (日)										
24 月	18,550	18,550	19,250	96.4	96.4	25,950	25,950	25,950	100.0	100.0
25 火	2,870	3,150	3,780	75.9	83.3	18,630	18,660	18,660	99.8	100.0
26 水	9,590	14,490	14,490	66.2	100.0	11,670	11,670	12,570	92.8	92.8
27 木	3,220	5,320	5,320	60.5	100.0	25,200	25,200	25,200	100.0	100.0
28 金	4,900	4,900	4,900	100.0	100.0	32,280	32,280	37,080	87.1	87.1
29 土	2,030	2,030	5,880	34.5	34.5	5,010	5,010	5,010	100.0	100.0
30 (日)										
31 月	21,350	21,350	21,350	100.0	100.0	12,600	12,600	12,600	100.0	100.0
月合計	154,280	177,310	196,350	78.6	90.3	508,950	510,210	528,510	96.3	96.5

(つづき)

日・曜	3 レ タ ス					4 マンジョカいも				
	入 荷 量 全日量			入 荷 率		入 荷 量 全日量			入 荷 率	
	A	B	C	A / C	B / C	A	B	C	A / C	B / C
(10月)	Kg	Kg	Kg	%	%	Kg	Kg	Kg	%	%
1 土	5,664	7,152	9,321	60.8	76.7	76,320	124,650	179,280	42.6	69.5
2 (日)										
3 月	2,270	4,458	4,856	46.7	91.8	152,190	210,330	217,530	70.0	96.7
4 火	2,707	4,622	4,902	55.2	94.3	129,510	169,830	186,030	69.6	91.3
5 水	5,033	6,597	7,035	71.5	93.8	107,730	143,280	186,120	57.9	77.0
6 木	3,471	5,991	6,539	53.1	91.6	131,040	192,960	204,210	64.2	94.5
7 金	1,836	4,369	4,820	38.1	90.6	68,670	137,790	147,960	46.4	93.1
8 土	6,066	7,962	9,075	66.8	87.7	113,580	184,230	213,570	53.2	86.3
9 (日)										
10 月	2,437	2,967	3,257	74.8	91.1	101,430	109,890	147,510	68.8	74.5
11 火	2,821	4,096	7,923	35.6	51.7	82,170	138,240	156,240	52.6	88.5
12 水	1,950	2,347	2,593	75.2	90.5	93,060	136,620	194,850	47.8	70.1
13 木	3,120	7,760	7,813	39.9	99.3	111,510	140,310	174,330	64.0	80.5
14 金	1,513	3,272	4,132	36.2	78.2	126,430	148,680	172,710	73.2	86.1
15 土	7,433	10,055	10,055	73.9	100.0	53,010	103,950	173,520	30.5	59.9
16 (日)										
17 月	2,997	3,501	3,606	83.1	97.1	96,130	133,660	143,290	67.1	93.3
18 火	2,238	3,861	4,089	54.7	94.4	66,510	88,740	88,740	74.9	100.0
19 水	3,009	8,289	9,278	32.4	89.3	147,240	136,570	203,670	72.3	91.6
20 木	4,781	6,193	6,193	77.2	100.0	90,080	139,220	139,220	64.7	100.0
21 金	3,593	5,196	5,906	60.8	88.0	107,320	169,290	184,680	58.4	91.7
22 土	7,733	8,083	8,743	88.4	92.4	64,350	80,010	94,240	68.3	84.9
23 (日)										
24 月	3,712	4,898	5,143	72.1	95.1	112,320	126,000	147,330	76.2	85.5
25 火	5,623	6,683	6,753	83.3	99.0	107,010	149,530	181,530	53.8	82.4
26 水	3,797	4,513	4,693	80.9	96.2	90,630	151,830	163,080	55.6	92.3
27 木	1,276	2,664	3,300	38.7	80.7	67,770	130,530	154,980	43.7	84.3
28 金	4,680	5,735	5,735	81.6	100.0	118,030	173,110	198,180	59.6	89.9
29 土	1,875	4,082	4,142	45.3	98.6	92,830	153,940	207,360	44.8	76.6
30 (日)										
31 月	4,168	5,180	5,180	80.5	100.0	121,950	151,560	158,760	76.8	95.5
月合計	95,803	140,526	155,142	61.8	90.6	2,629,420	3,784,410	4,413,910	59.5	85.6

(つづき)

日・曜	5 ば れ い し ょ					6 ビ ー マ ン				
	入 荷 量		全日量	入 荷 率		入 荷 量		全日量	入 荷 率	
	A	B		A / C	B / C	A	B		A / C	B / C
(10月)	Kg	Kg	Kg	%	%	Kg	Kg	Kg	%	%
1 土	29,400	29,400	29,400	100.0	100.0	10,747	12,772	18,597	79.0	98.7
2 (日)										
3 月	7,250	7,250	7,250	100.0	100.0	8,850	9,375	10,380	85.3	90.3
4 火	16,500	16,500	16,500	100.0	100.0	4,491	5,391	5,771	77.8	98.4
5 水	20,000	20,000	20,000	100.0	100.0	2,412	2,662	2,762	87.3	96.4
6 木	36,250	36,250	36,250	100.0	100.0	5,593	7,218	7,248	77.2	99.7
7 金	17,000	17,000	17,000	100.0	100.0	6,892	7,517	7,892	87.3	95.2
8 土	20,250	20,250	20,250	100.0	100.0	7,522	8,272	8,422	89.3	98.2
9 (日)										
10 月	6,500	6,500	6,500	100.0	100.0	6,200	6,200	6,200	100.0	100.0
11 火	—	—	—	—	—	13,923	14,683	16,938	82.2	86.7
12 水	12,750	12,750	22,750	56.0	56.0	3,275	3,275	3,275	100.0	100.0
13 木	1,500	1,500	1,500	100.0	100.0	9,899	11,242	11,242	88.1	100.0
14 金	10,300	19,300	19,300	53.4	100.0	9,473	10,573	11,023	85.9	95.9
15 土	16,250	16,250	16,250	100.0	100.0	4,674	5,374	5,374	87.0	100.0
16 (日)										
17 月	11,000	11,000	11,000	100.0	100.0	6,320	6,320	6,320	100.0	100.0
18 火	4,000	4,000	4,000	100.0	100.0	9,353	9,953	10,453	89.5	95.2
19 水	33,500	33,500	40,000	83.8	83.8	2,320	4,245	4,973	46.7	85.4
20 木	8,850	17,850	22,850	38.7	78.1	3,798	4,248	4,973	46.7	85.4
21 金	1,500	1,500	2,250	66.7	66.7	17,998	18,798	18,948	95.0	99.2
22 土	5,000	5,000	5,000	100.0	100.0	3,809	3,959	4,184	91.0	94.6
23 (日)										
24 月	2,350	2,350	2,350	100.0	100.0	5,400	6,400	6,625	81.5	96.6
25 火	28,500	28,500	28,500	100.0	100.0	11,417	12,442	12,892	88.6	96.5
26 水	48,700	48,700	48,700	100.0	100.0	4,822	5,647	5,647	85.4	100.0
26 木	19,200	20,700	20,700	92.8	100.0	3,976	5,351	5,401	73.6	99.1
28 金	16,700	16,700	16,700	100.0	100.0	10,270	11,395	11,907	86.3	95.7
29 土	6,550	9,250	9,250	70.8	100.0	4,445	5,495	5,570	79.8	98.7
30 (日)										
31 月	38,200	38,200	38,200	100.0	100.0	8,555	9,005	9,005	95.0	100.0
月合計	418,000	440,200	462,452	90.4	95.2	186,454	207,812	216,287	86.2	96.1

(つづき)

日・曜	7 キ ャ ベ ッ					8 ト マ ト				
	入 荷 量		全日量	入 荷 率		入 荷 量		全日量	入 荷 率	
	A	B	C	A / C	B / C	A	B	C	A / C	B / C
(10月)	Kg	Kg	Kg	%	%	Kg	Kg	Kg	%	%
1 土	4,364	5,364	5,364	81.4	100.0	51,260	58,540	63,740	80.4	91.8
2 (日)										
3 月	7,600	8,350	8,600	88.4	97.1	9,560	15,860	17,480	54.7	90.7
4 火	8,020	8,020	8,788	91.3	91.3	45,180	47,840	48,000	94.1	99.7
5 水	4,740	5,590	5,590	84.8	100.0	25,480	29,220	35,720	91.8	81.8
6 木	6,132	7,132	8,132	75.4	87.7	43,600	47,720	48,630	89.6	98.0
7 金	8,164	9,214	9,214	88.6	100.0	26,240	29,540	30,300	86.6	97.5
8 土	13,436	14,246	15,186	88.5	93.4	47,680	50,480	51,260	93.0	98.5
9 (日)										
10 月	3,700	3,800	3,800	97.4	100.0	13,580	16,080	19,080	71.2	84.3
11 火	2,416	2,416	3,166	76.3	76.3	54,630	58,460	63,380	86.3	92.2
12 水	13,000	13,000	13,000	100.0	100.0	60,300	67,300	73,520	76.8	85.7
13 木	7,254	8,354	8,404	86.3	99.4	21,120	26,620	31,320	67.4	85.0
14 金	6,936	8,086	8,086	86.4	100.0	37,740	40,940	42,840	88.1	95.6
15 土	8,074	8,074	8,074	100.0	100.0	68,540	71,980	73,020	87.8	92.3
16 (日)										
17 月	10,300	10,300	10,300	100.0	100.0	31,660	31,660	35,330	89.5	89.5
18 火	8,694	9,944	9,944	87.4	100.0	55,320	61,530	61,700	89.7	99.8
19 水	13,564	14,314	14,862	91.3	96.3	23,340	33,220	39,530	71.6	88.9
20 木	1,740	2,490	2,490	69.9	100.0	31,540	39,720	39,720	90.9	100.0
21 金	10,690	11,540	11,640	91.8	99.1	67,900	73,320	76,920	88.3	95.3
22 土	6,438	6,438	7,188	89.6	89.6	52,400	53,400	56,360	93.0	94.7
23 (日)										
24 月	8,600	9,900	10,500	81.9	94.3	42,030	47,460	61,300	68.6	77.4
25 火	12,544	13,694	13,694	91.6	100.0	90,020	109,300	110,400	81.5	99.0
26 水	16,748	16,948	16,948	98.8	100.0	44,200	50,500	51,000	86.7	99.0
27 木	11,194	11,794	11,794	94.9	100.0	48,660	57,900	58,900	82.6	98.3
28 金	11,230	11,980	11,980	93.7	100.0	76,030	76,480	76,480	99.5	100.0
29 土	2,774	6,124	7,624	36.4	80.3	77,200	81,680	82,230	93.8	99.3
30 (日)										
31 月	9,900	10,900	10,900	90.8	100.0	43,560	50,180	55,780	87.1	89.9
月合計	218,302	238,012	245,268	89.0	97.0	1,248,920	1,376,980	1,464,140	85.3	94.0

(つづき)

日・曜	9 にんじん					10 かぼちゃ				
	入荷量 全日量			入荷率		入荷量 全日量			入荷率	
	A	B	C	A/C	B/C	A	B	C	A/C	B/C
(10月)	Kg	Kg	Kg	%	%	Kg	Kg	Kg	%	%
1 土	3,952	4,072	5,572	70.9	73.1	15,500	15,500	15,600	99.4	99.4
2 (日)										
3 月	11,705	12,689	14,489	80.8	87.6	7,670	8,170	8,570	89.5	95.3
4 火	10,895	11,075	11,700	93.1	94.7	1,750	2,650	2,650	66.0	100.0
5 水	5,136	5,220	5,310	96.7	98.3	9,135	11,335	11,835	77.6	95.8
6 木	12,609	12,609	12,609	100.0	100.0	7,470	7,470	8,170	91.4	91.4
7 金	11,974	14,674	14,674	81.6	100.0	6,900	9,300	9,300	74.2	100.0
8 土	12,476	13,976	13,976	89.3	100.0	3,750	4,250	4,250	88.2	100.0
9 (日)										
10 月	11,219	11,219	11,219	100.0	100.0	19,350	19,950	21,500	90.0	92.8
11 火	9,345	9,345	9,381	99.6	99.6	6,150	6,250	6,250	98.4	100.0
12 水	7,953	7,953	7,953	100.0	100.0	9,255	24,255	24,255	38.2	100.0
13 木	14,176	14,176	14,176	100.0	100.0	6,900	6,900	7,600	90.8	90.8
14 金	12,646	13,846	13,846	91.3	100.0	35,730	36,530	37,130	96.4	98.4
15 土	12,675	14,765	14,765	86.1	100.0	10,555	10,555	11,255	93.8	93.8
16 (日)										
17 月	6,085	6,085	6,085	100.0	100.0	21,675	24,675	24,675	87.8	100.0
18 火	14,034	14,132	14,132	99.7	100.0	3,775	4,150	4,175	90.4	99.4
19 水	8,463	8,493	8,493	99.6	100.0	19,300	19,500	20,750	93.0	94.0
20 木	9,672	9,672	9,672	100.0	100.0	10,520	28,420	28,420	37.0	100.0
21 金	12,630	13,273	16,123	78.3	82.3	8,550	8,600	8,950	95.5	96.1
22 土	9,598	9,598	9,598	100.0	100.0	200	1,250	1,300	15.4	96.2
23 (日)										
24 月	20,100	22,230	22,230	90.4	100.0	13,850	13,850	15,250	90.8	90.8
25 火	14,846	15,411	16,776	88.5	91.9	7,750	9,600	10,600	73.1	90.6
26 水	9,384	9,384	9,384	100.0	100.0	5,725	6,975	7,125	80.4	97.9
27 木	10,733	12,536	12,533	85.6	100.0	22,570	23,670	24,035	93.9	98.5
28 金	7,860	9,360	11,460	68.6	81.7	12,850	14,100	14,100	91.1	100.0
29 土	3,325	5,750	6,650	50.0	86.5	4,350	7,150	7,150	60.8	100.0
30 (日)										
31 月	12,630	12,630	12,630	100.0	100.0	12,250	15,850	15,850	77.3	100.0
月合計	276,171	294,178	305,441	90.4	96.3	277,855	340,905	350,745	80.9	97.2

(つづき)
(果実の部)

日・曜	1 バナナ(カラッペ種)					2 バナナ(オロ種)				
	入荷量		全日量 C	入荷率		入荷量		全日量 C	入荷率	
	A	B		A/C	B/C	A	B		A/C	B/C
(10月)	Kg	Kg	Kg	%	%	Kg	Kg	Kg	%	%
1 土	36,990	39,330	39,330	94.1	100.0	2,185	2,185	2,185	100.0	100.0
2 (日)										
3 月	28,944	30,334	31,860	90.8	95.4	2,162	2,392	2,392	90.4	100.0
4 火	7,896	9,216	21,492	36.7	42.9	2,323	2,323	2,323	100.0	100.0
5 水	39,132	39,132	39,132	100.0	100.0	19,900	20,460	20,460	97.3	100.0
6 木	51,796	51,796	51,832	99.9	99.9	8,929	9,642	10,079	88.6	95.7
7 金	32,616	37,116	38,916	83.8	95.4	40,045	40,620	44,620	89.7	91.0
8 土	55,814	55,814	55,814	100.0	100.0	14,310	14,686	14,686	97.6	100.0
9 (日)										
10 月	42,930	42,930	42,930	100.0	100.0	10,699	10,699	10,791	99.1	99.1
11 火	22,554	22,554	30,294	74.5	74.5	9,625	9,625	10,085	95.4	95.4
12 水	42,390	43,330	51,210	82.8	94.4	2,070	2,070	2,438	84.9	84.9
13 木	31,306	31,306	31,306	100.0	100.0	5,895	5,895	6,746	87.4	87.4
14 金	34,704	36,504	36,504	95.1	100.0	2,438	2,783	2,783	87.6	100.0
15 土	54,892	55,162	55,162	99.5	100.0	7,155	7,500	7,730	92.6	97.0
16 (日)										
17 月	193,572	193,572	193,572	100.0	100.0	16,235	16,235	16,235	100.0	100.0
18 火	12,078	12,078	12,078	100.0	100.0	24,646	25,336	25,336	97.3	100.0
19 水	23,058	23,058	23,994	96.1	96.1	2,530	2,530	3,289	76.9	76.9
20 木	53,750	53,750	53,750	100.0	100.0	8,210	8,900	8,900	92.2	100.0
21 金	46,218	46,218	46,218	100.0	100.0	26,706	26,844	26,844	99.5	100.0
22 土	23,742	23,742	26,802	88.6	88.6	1,058	1,058	1,058	100.0	100.0
23 (日)										
24 月	58,374	58,374	58,374	100.0	100.0	10,632	10,632	11,322	98.9	98.9
25 火	32,328	32,454	32,454	99.6	100.0	21,206	21,206	21,206	100.0	100.0
26 水	30,204	31,284	34,884	86.6	89.7	7,113	8,056	8,056	88.8	100.0
27 木	43,893	44,928	44,928	97.7	100.0	10,747	10,977	10,977	97.9	100.0
28 金	36,056	36,056	36,056	100.0	100.0	17,960	17,960	25,004	71.8	71.8
29 土	38,124	54,864	54,864	69.5	100.0	1,654	1,654	2,689	61.5	61.5
30 (日)										
31 月	57,792	58,072	57,792	100.0	100.0	4,949	7,364	12,164	40.7	60.5
月合計	1,131,153	1,167,768	1,201,548	94.1	97.2	281,412	289,632	310,398	90.7	93.3

(つづき)

日・曜	3 レ モ ン					4 み か ん				
	入 荷 量 全日量			入 荷 率		入 荷 量 全日量			入 荷 率	
	A	B	C	A / C	B / C	A	B	C	A / C	B / C
(10月)	Kg	Kg	Kg	%	%	Kg	Kg	Kg	%	%
1 土	1,405	1,405	1,405	100.0	100.0	10,800	10,800	10,800	100.0	100.0
2 (日)										
3 月	210	210	735	28.6	28.6	-	-	-	-	-
4 火	1,505	1,505	1,505	100.0	100.0	12,555	12,555	15,155	82.8	82.8
5 水	1,155	1,155	1,155	100.0	100.0	-	-	-	-	-
6 木	1,755	1,755	1,755	100.0	100.0	8,450	8,450	8,450	100.0	100.0
7 金	560	630	630	88.9	100.0	1,350	1,350	1,350	100.0	100.0
8 土	350	700	700	50.0	100.0	12,720	13,530	13,530	100.0	100.0
9 (日)										
10 月	1,430	1,430	1,430	100.0	100.0	-	-	-	-	-
11 火	1,085	1,085	1,085	100.0	100.0	3,360	3,360	3,360	100.0	100.0
12 水	175	175	175	100.0	100.0	-	-	-	-	-
13 木	175	175	175	100.0	100.0	-	-	-	-	-
14 金	365	365	365	100.0	100.0	-	-	-	-	-
15 土	350	350	350	100.0	100.0	2,700	2,700	4,050	66.7	66.7
16 (日)										
17 月	350	350	350	100.0	100.0	-	-	-	-	-
18 火	700	770	770	90.9	100.0	4,860	4,860	5,535	87.8	87.8
19 水	140	140	140	100.0	100.0	-	-	-	-	-
20 木	-	-	-	-	-	540	540	540	100.0	100.0
21 金	2,135	2,135	2,135	100.0	100.0	-	-	-	-	-
22 土	-	-	-	-	-	5,400	5,400	5,400	100.0	100.0
23 (日)										
24 月	105	105	105	100.0	100.0	-	-	-	-	-
25 火	1,540	1,645	1,645	93.6	100.0	3,510	3,510	3,510	100.0	100.0
26 水	1,120	1,120	1,380	81.2	81.2	-	-	-	-	-
27 木	1,085	1,435	1,435	75.6	100.0	-	-	-	-	-
28 金	665	665	665	100.0	100.0	-	-	-	-	-
29 土	130	130	485	26.8	26.8	5,130	5,130	5,670	90.5	90.5
30 (日)										
31 月	620	735	795	78.0	92.5	-	-	-	-	-
月合計	19,110	20,170	21,370	89.4	94.4	71,375	72,185	77,350	92.3	93.3

(つづき)

日・曜	5 り ん こ					6 ヶ ロ ン				
	入 荷 量		全日量	入 荷 率		入 荷 量		全日量	入 荷 率	
	A	B	C	A / C	B / C	A	B	C	A / C	B / C
(10月)	Kg	Kg	Kg	%	%	Kg	Kg	Kg	%	%
1 土	19,140	19,140	19,140	100.0	100.0	600	600	600	100.0	100.0
2 (日)										
3 月	2,222	2,222	2,222	100.0	100.0	—	—	—	—	—
4 火	880	380	380	100.0	100.0	2,000	2,000	2,000	100.0	100.0
5 水	220	220	220	100.0	100.0	—	—	—	—	—
6 木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7 金	220	220	220	100.0	100.0	—	—	—	—	—
8 土	440	440	440	100.0	100.0	2,400	2,800	2,800	85.7	100.0
9 (日)										
10 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11 火	—	—	1,500	—	—	1,000	1,000	1,000	100.0	100.0
12 水	—	—	—	—	—	300	300	300	100.0	100.0
13 木	—	—	—	—	—	800	800	800	100.0	100.0
14 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15 土	—	—	—	—	—	1,000	1,000	2,000	50.0	50.0
16 (日)										
17 月	396	396	396	100.0	100.0	—	—	—	—	—
18 火	440	440	440	100.0	100.0	1,600	1,600	2,200	72.7	72.7
19 水	330	330	330	100.0	100.0	—	—	—	—	—
20 木	—	—	506	—	—	—	—	—	—	—
21 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 土	792	792	792	100.0	100.0	1,600	2,000	2,000	80.0	100.0
23 (日)										
24 月	660	660	660	100.0	100.0	—	—	—	—	—
25 火	990	990	990	100.0	100.0	800	800	800	100.0	100.0
26 水	444	440	440	100.0	100.0	1,000	1,000	1,000	100.0	100.0
27 木	16,984	16,984	16,984	100.0	100.0	500	500	500	100.0	100.0
28 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29 土	1,386	1,386	1,326	75.9	75.9	2,200	2,200	2,600	84.6	84.6
30 (日)										
31 月	330	330	330	100.0	100.0	—	—	—	—	—
月合計	45,320	45,320	47,806	94.8	94.8	15,800	16,600	18,600	84.9	89.2

(つづき)

日・曜	7 オレンジ					8 パイナップル				
	入荷量		全日量	入荷率		入荷量		全日量	入荷率	
	A	B		A/C	B/C	A	B		A/C	B/C
(10月)	Kg	Kg	Kg	%	%	Kg	Kg	Kg	%	%
1 土	51,060	65,460	65,460	78.0	100.0	5,780	5,780	5,780	100.0	100.0
2 (日)										
3 月	34,365	43,365	54,705	62.8	79.3	1,904	1,904	1,904	100.0	100.0
4 火	168,424	168,424	194,524	86.6	86.6	4,250	4,250	4,250	100.0	100.0
5 水	48,780	48,780	60,480	80.7	80.7	4,046	4,046	4,046	100.0	100.0
6 木	74,170	74,170	87,670	84.6	84.6	5,610	5,610	5,695	98.5	98.5
7 金	144,626	144,626	159,746	90.5	90.5	3,740	3,740	3,740	100.0	100.0
8 土	89,890	92,140	97,540	92.2	94.5	3,570	3,910	3,910	91.3	100.0
9 (日)										
10 月	122,940	122,940	122,940	100.0	100.0	4,990	4,990	4,990	100.0	100.0
11 火	30,360	30,360	30,360	100.0	100.0	813	813	813	100.0	100.0
12 水	3,810	3,810	3,810	100.0	100.0	2,720	2,720	2,720	100.0	100.0
13 木	7,200	7,200	7,200	100.0	100.0	2,625	2,625	3,675	71.4	71.4
14 金	81,220	81,220	90,292	90.0	90.0	3,090	3,090	3,090	100.0	100.0
15 土	70,650	70,650	96,300	73.4	73.4	—	—	—	—	—
16 (日)										
17 月	28,320	28,320	28,320	100.0	100.0	2,600	2,702	2,702	96.2	100.0
18 火	84,110	111,110	125,510	67.0	88.5	1,309	1,360	2,830	46.3	48.1
19 水	69,258	69,258	69,258	100.0	100.0	—	—	—	—	—
20 木	64,300	64,300	64,300	100.0	100.0	2,275	2,275	2,275	100.0	100.0
21 金	65,700	65,700	65,700	100.0	100.0	612	612	612	100.0	100.0
22 土	68,260	68,260	68,260	100.0	100.0	8,690	9,190	9,190	94.5	100.0
23 (日)										
24 月	70,200	70,200	70,200	100.0	100.0	—	—	—	—	—
25 火	76,528	76,528	85,528	89.5	89.5	2,058	2,264	2,264	90.9	100.0
26 水	102,500	122,300	122,300	83.8	100.0	1,870	2,295	2,995	62.4	76.6
27 木	26,960	26,960	26,960	100.0	100.0	—	—	—	—	—
28 金	61,380	75,780	90,180	68.1	84.0	12,150	12,150	12,150	100.0	100.0
29 土	56,870	85,670	86,570	65.7	99.0	12,395	19,745	19,745	62.8	100.0
30 (日)										
31 月	29,460	29,460	29,460	100.0	100.0	510	2,460	2,460	20.7	100.0
月合計	1,731,341	1,846,991	2,003,573	86.4	92.2	87,597	98,531	101,836	86.0	96.8

(つづき)

日・曜	9 グレープフルーツ					10 す い か				
	入 荷 量 全日量			入 荷 率		入 荷 量 全日量			入 荷 率	
	A	B	C	A / C	B / C	A	B	C	A / C	B / C
(10月)	Kg	Kg	Kg	%	%	Kg	Kg	Kg	%	%
1 土	1,020	1,020	1,020	100.0	100.0	385	385	385	100.0	100.0
2 (日)										
3 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 火	1,490	1,490	1,490	100.0	100.0	375	375	375	100.0	100.0
5 水	3,230	3,230	3,230	100.0	100.0	—	—	—	—	—
6 木	2,730	2,730	2,730	100.0	100.0	—	—	—	—	—
7 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8 土	3,800	3,800	3,800	100.0	100.0	2,500	2,850	2,850	87.0	100.0
9 (日)										
10 月	2,660	2,660	2,660	100.0	100.0	—	—	—	—	—
11 火	3,800	3,800	3,800	100.0	100.0	280	280	280	100.0	100.0
12 水	4,560	4,560	4,560	100.0	100.0	—	—	—	—	—
13 木	1,900	1,900	1,900	100.0	100.0	700	700	700	100.0	100.0
14 金	5,700	5,700	5,700	100.0	100.0	—	—	—	—	—
15 土	7,980	7,980	7,980	100.0	100.0	350	350	350	100.0	100.0
16 (日)										
17 月	1,900	1,900	1,900	100.0	100.0	—	—	—	—	—
18 火	—	—	—	—	—	1,750	1,750	1,750	100.0	100.0
19 水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20 木	3,000	3,000	3,000	100.0	100.0	—	—	—	—	—
21 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 土	—	—	—	—	—	700	1,050	1,050	66.7	100.0
23 (日)										
24 月	2,500	2,500	2,500	100.0	100.0	—	—	—	—	—
25 火	—	—	—	—	—	4,480	4,480	4,480	100.0	100.0
26 水	—	—	—	—	—	70	70	70	100.0	100.0
27 木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29 土	—	—	—	—	—	6,475	6,475	6,325	94.9	94.9
30 (日)										
31 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
月合計	46,270	46,270	46,270	100.0	100.0	18,565	19,265	19,615	94.6	98.2

(3) 荷姿別入荷量 (1983年10月分……毎日午前3時までの入荷量)

(Kg)

重量別

品目	計	箱	袋	束	ダース	筒	房	組
1 かんしょ	177,310	—	177,310	—	—	—	—	—
2 たまねぎ	510,210	—	510,210	—	—	—	—	—
3 レタス	140,526	14,200	—	58,625	67,701	—	—	—
4 マンジョカイモ	3,784,410	—	3,784,410	—	—	—	—	—
5 ばれいしょ	440,200	—	440,200	—	—	—	—	—
6 ピーマン	207,812	59,262	148,550	—	—	—	—	—
7 キャベツ	238,012	29,712	208,300	—	—	—	—	—
8 トマト	1,376,980	1,376,980	—	—	—	—	—	—
9 にんじん	294,178	25,175	265,980	—	3,028	—	—	—
10 かぼちゃ	340,905	—	288,300	—	—	52,605	—	—
11 バナナ(カラッペ)	1,167,768	953,568	—	—	62,400	—	151,800	—
12 バナナ(オロ)	289,632	69,786	—	—	112,160	—	107,736	—
13 レモン	20,170	—	13,020	—	—	7,150	—	—
14 みかん	72,185	52,785	1,200	—	—	18,200	—	—
15 りんご	45,320	45,320	—	—	—	—	—	—
16 メロン	16,600	16,600	—	—	—	—	—	—
17 オレンジ	1,846,991	42,680	49,905	—	—	1,754,406	—	—
18 パイナップル	98,531	49,793	—	—	—	—	—	48,738
19 グレープフルーツ	46,270	2,580	5,500	—	—	38,190	—	—
20 すいか	19,265	—	—	—	—	19,265	—	—

荷姿別

(個数)

1 かんしょ	—	—	2,533	—	—	—	—	—
2 たまねぎ	—	—	17,007	—	—	—	—	—
3 レタス	—	710	—	1,675	25,399	—	—	—
4 マンジョカイモ	—	—	42,049	—	—	—	—	—
5 ばれいしょ	—	—	8,804	—	—	—	—	—
6 ピーマン	—	4,233	5,942	—	—	—	—	—
7 キャベツ	—	1,857	4,166	—	—	—	—	—
8 トマト	—	68,849	—	—	—	—	—	—
9 にんじん	—	1,007	8,866	—	1,260	—	—	—
10 かぼちゃ	—	—	5,766	—	—	15,030	—	—
11 バナナ(カラッペ)	—	52,956	—	—	60,000	—	13,800	—
12 バナナ(オロ)	—	3,302	—	—	140,200	—	13,467	—
13 レモン	—	—	372	—	—	55,000	—	—
14 みかん	—	1,955	40	—	—	140,000	—	—
15 りんご	—	2,060	—	—	—	—	—	—
16 メロン	—	830	—	—	—	—	—	—
17 オレンジ	—	1,940	1,109	—	—	9,746,700	—	—
18 パイナップル	—	2,929	—	—	—	—	—	14,250
19 グレープフルーツ	—	86	110	—	—	100,500	—	—
20 すいか	—	—	—	—	—	5,504	—	—

(4) 市場年報(1988年度)

イ 総入荷量

(1) 月別入荷量

(kg)

(2) 品目別入荷量

(kg)

(kg)

月	合計			品目	合計			品目	合計		
	国内	国外	合計		国内	国外	国内		国外	合計	
合計	150,784,929	123,008,626	27,776,303	1 だいこん	90,830	90,578	252	1 みかん	1,897,187	992,752	904,435
1月	13,248,093	10,616,503	2,631,585	2 かぶ	38,609	38,609	-	2 オレンジ	20,854,834	9,530,974	11,323,860
2月	12,772,434	10,071,522	2,700,912	3 にんじん	2,712,140	2,228,144	483,996	3 レモン	508,608	487,803	20,805
3月	12,626,733	9,316,659	3,310,074	4 かんしょ	5,666,196	5,666,196	-	4 グレープフルーツ	1,302,868	1,297,368	5,500
4月	8,955,730	7,847,007	1,108,723	5 ばれいしょ	4,540,665	628,700	3,911,965	5 はんかん	8,127	8,127	-
5月	10,636,243	9,217,327	1,418,916	6 たまねぎ	6,392,732	2,339,322	4,053,410	6 パナ(カラッペ)	12,233,745	12,214,265	24,480
6月	11,606,790	9,614,303	1,991,982	7 てんさい	370,549	344,429	26,120	7 パナ(オロ)	4,210,928	4,204,978	5,950
7月	12,733,099	10,539,376	2,193,723	8 マンジョカ	47,021,734	47,721,734	-	8 りんご	1,249,263	1,534	1,247,729
8月	14,137,333	11,727,947	2,409,386	9 さといも	15	15	-	9 なし	247,202	2,348	244,854
9月	13,075,306	10,504,761	2,570,547	10 キャベツ	2,636,173	1,998,485	637,688	10 アボガド	17,709	17,584	125
10月	12,637,659	9,947,201	2,690,458	11 ほうれんそう	67,744	67,727	17	11 もも	50,836	13,138	37,698
11月	13,450,349	11,045,197	2,405,152	12 ねぎ	242,747	242,747	-	12 すもも	36,654	19,930	16,724
12月	14,854,103	12,510,313	2,343,790	13 レタス	1,502,310	1,501,610	700	13 西洋すもも	2,750	250	2,500
野菜	100,040,314	86,940,501	13,099,813	14 パセリ	163,394	163,064	330	14 びわ	2,630	48	2,632
1月	8,067,200	7,136,024	931,176	15 セロリ	18,527	17,791	736	15 ぶどう	157,330	109,830	47,450
2月	8,178,967	7,291,935	887,032	16 カリフラワー	70,653	66,861	3,792	16 いちご	90,562	57,062	33,500
3月	8,176,545	7,051,785	1,124,760	17 ブロッコリー	470	470	-	17 パパイア	87,338	6,748	80,590
4月	6,613,337	6,071,452	541,885	18 はくさい	239,151	230,438	8,713	18 パイナップル	4,031,497	3,561,044	470,453
5月	7,921,264	6,394,342	1,526,922	19 ちしや	4,664	4,664	-	19 メロシ	1,372,537	1,237,878	134,659
6月	8,153,223	6,392,020	1,761,203	20 せり	57,830	57,830	-	20 すいか	2,372,115	2,303,134	68,981
7月	8,757,099	7,030,622	1,726,477	21 にんにく	33,517	60,008	26,491				
8月	9,177,036	7,349,530	1,827,506	22 きゅうり	233,431	279,021	4,590				
9月	9,223,337	7,218,377	2,004,960	23 なす	35,195	34,915	280				
10月	8,741,757	7,435,137	1,306,620	24 トマト	18,893,267	16,162,162	2,731,105				
11月	9,097,405	8,956,305	141,100	25 カラバサ	10,615	9,115	1,500				
12月	8,022,599	8,012,922	9,677	26 かぼちゃ	3,303,911	2,527,036	776,875				
果実	50,744,615	36,068,125	14,676,490	27 小かぼちゃ	204,509	202,529	1,980				
1月	5,130,893	3,430,434	1,700,459	28 ビーマン	2,553,740	2,149,030	404,710				
2月	4,593,517	2,779,537	1,813,980	29 ささげ	53,668	48,063	5,605				
3月	4,450,133	2,284,374	2,165,759	30 そらまめ	337,056	337,056	-				
4月	2,442,363	1,775,555	666,808	31 いんげん	151,058	151,058	-				
5月	2,714,979	2,322,935	392,044	32 さやいんげん	115,824	115,824	-				
6月	3,448,562	3,222,733	225,829	33 さやえんどう	415,739	415,009	730				
7月	3,976,000	3,503,754	472,246	34 とうもろこし	1,272,005	1,260,605	11,400				
8月	5,010,797	4,373,417	637,380	35 はつか	7,440	7,440	-				
9月	3,346,471	3,235,334	111,137								
10月	3,395,332	2,462,014	933,318								
11月	4,353,444	2,039,332	2,314,112								
12月	6,331,509	4,497,391	1,834,118								

ロ 品目別入荷量，価格（以下1，3共一部例示）

(1) だいこん						(3) にんじん						
月	入荷量	価格		価格		月	入荷量	価格		価格		
		国内	国外	国内	国外			国内	国外	国内	国外	
年合計	90,830	90,578	252	58	58	...	2,712,140	2,228,144	483,996	49	39	94
1983. 1月	1,750	1,750	-	79	79	-	393,732	333,657	75	28	28	...
2	1,482	1,482	-	106	106	-	255,658	253,198	2,460	55	55	...
8	672	672	-	122	122	-	137,960	81,310	56,650	79	70	93
4	5,768	5,768	-	87	87	-	56,546	5,240	51,306	100	...	100
5	3,966	3,966	-	64	64	-	148,424	3,944	139,480	94	...	94
6	6,556	6,556	-	85	85	-	161,897	16,737	145,110	96	74	99
7	7,898	7,898	-	109	109	-	179,233	101,893	77,340	75	69	83
8	15,542	15,542	-	57	57	-	250,878	242,178	8,700	50	49	74
9	11,294	11,042	252	33	33	...	234,410	232,285	2,125	53	53	...
10	11,426	11,426	-	39	39	-	307,191	307,191	-	30	30	-
11	14,472	14,472	-	38	38	-	286,911	286,911	-	22	22	-
12	5,004	5,004	-	36	36	-	364,300	363,550	750	28	28	-

ハ 品目別，産地別入荷量

産地	年合計	品目 (1) だいこん (以下，品目共通) (Kg)											
		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
合計	82年 69,326	5,116	3,962	6,577	8,092	5,478	3,696	7,068	5,635	8,588	9,202	3,520	2,392
	83年 90,830	1,750	1,482	672	5,768	3,966	6,556	7,898	15,542	11,294	11,426	14,472	5,004
1 CONCEPCION	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 SAN PEDRO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 CORDILERA	1,596	-	-	-	-	196	224	-	112	854	210	-	-
4 GUAIRA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 CAAGUAZU	168	-	-	-	-	84	-	-	84	-	-	-	-
6 CAAZAPA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7 ITAPUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8 MISIONES	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9 PARAGUARI	4,894	70	106	-	168	504	1,106	630	1,120	784	56	350	-
10 ALTO PARANA	29,988	168	490	588	1,722	4,018	1,806	3,472	2,758	2,142	5,188	6,552	1,134
11 CENTRAL	53,862	1,512	886	84	3,878	4,164	3,350	3,796	11,468	7,262	6,022	7,570	3,870
12 ÑEMBUGU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13 AMANBAY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14 CANENDIYU	70	-	-	-	-	-	70	-	-	-	-	-	-
15 CHACO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(国内)													
16 BRASIL	252	-	-	-	-	-	-	-	-	252	-	-	-
17 ARGENTINA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18 CHILE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

ニ 産地別，品目別入荷量

品目	産地 (1) CONCEPCION (以下，産地共通) (Kg)												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1 たまねぎ	4,200	600	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,600
2 トマト	8,800	-	-	-	-	-	800	-	-	8,000	-	-	-
3 ピーマン	54,345	-	-	-	-	-	8,875	2,937	16,100	19,250	1,645	5,000	488
4 とうもろこし(生)	5,700	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,700
5 グレープフルーツ	8,360	-	-	-	-	-	-	-	-	8,360	-	-	-
6 パナナ(カラッパ)	923,607	103,560	104,176	26,440	30,370	39,628	88,000	66,976	66,978	94,870	146,710	63,818	92,581
7 パナナ(オロ)	2,330,407	232,560	350,108	304,350	224,548	197,710	133,160	145,843	218,110	98,530	155,330	77,140	188,018
8 バイナップル	117,785	-	6,740	670	-	-	-	-	-	-	-	-	110,375
9 メロシ	400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	400

ホ 青果物市場取扱高

(1) 月別取扱高

	入荷量(トン)			取扱高(1,000ガラニー)		
	計	国内	国外	計	国内	国外
計	169,785	128,009	27,776	5,989,478	3,967,802	2,021,676
野菜	100,040	85,941	13,100	3,933,466	2,650,271	1,293,195
果実	50,745	36,068	14,676	2,006,012	1,277,531	728,481
(計)						
1月	13,248	10,617	2,632	560,186	397,524	162,612
2	12,772	10,072	2,701	518,501	388,506	149,995
3	12,627	9,817	2,810	543,465	354,808	188,647
4	8,956	7,847	1,109	289,433	222,012	67,421
5	10,636	9,217	1,419	438,965	302,763	131,202
6	11,607	9,615	1,992	508,395	271,833	236,562
7	12,733	10,539	2,144	538,516	307,516	231,312
8	14,188	11,728	2,460	576,859	329,141	247,719
9	13,075	10,505	2,571	531,944	294,922	237,022
10	12,683	9,947	2,690	470,084	314,640	155,424
11	13,451	11,045	2,406	455,091	350,434	104,657
12	14,854	12,510	2,344	562,307	453,704	109,163
(野菜)						
1月	8,067	7,136	931	346,435	263,400	83,035
2	8,179	7,292	887	321,417	247,316	74,101
3	8,177	7,052	1,125	349,261	249,213	100,048
4	6,513	6,071	442	199,516	161,980	37,536
5	7,921	6,894	1,027	332,603	238,849	93,754
6	8,153	6,892	1,266	411,053	204,603	206,450
7	8,757	7,081	1,676	411,318	223,485	187,833
8	9,177	7,350	1,828	425,481	220,460	205,021
9	9,229	7,219	2,010	411,137	206,550	204,587
10	8,742	7,485	1,257	315,939	227,575	88,414
11	9,097	8,956	142	257,297	245,189	12,108
12	8,023	8,013	10	1,957	201,651	308
(果実)						
1月	5,181	3,480	1,700	2,213,701	134,124	79,577
2	4,594	2,780	1,814	197,034	121,190	75,894
3	4,450	2,265	2,185	194,194	105,595	88,599
4	2,442	1,776	667	89,917	60,032	29,885
5	2,715	2,323	392	101,362	63,914	37,448
6	3,449	3,223	226	97,342	67,230	30,112
7	3,976	3,509	467	127,510	84,031	43,479
8	5,011	4,378	632	151,378	108,630	42,698
9	3,846	3,286	561	120,307	88,372	32,435
10	3,896	2,462	1,434	154,075	87,065	67,010
11	4,353	2,039	2,314	197,794	105,245	92,549
12	6,832	4,497	2,334	360,848	252,053	108,795

(注) 1) 入荷量は「トン」以下四捨五入しているため、計はすべて必ずしも一致しない。
また、品目別入荷量の「0」はトン未満を示す。
2) 価格は国内及び国外入荷の1kg当り平均である。

(2) 品目別取扱高

品目	入荷量(トン)			取扱高(1,000ガラニー)			価格(ガラニー)
	計	国内	国外	計	国内	国外	
(野菜)							(40)
だいこん	91	91	0	5,307	5,297	10	58
かぶ	39	39	0	5,618	5,618	0	145
にんじん	2,712	2,228	484	133,164	87,925	45,239	49
かんしよ	5,666	5,666	0	104,734	104,734	0	18
ばれいしょ	4,541	629	3,912	384,661	53,127	331,534	85
たまねぎ	6,393	2,339	4,058	591,067	79,447	511,620	92
てんさい	371	344	26	17,159	14,270	2,889	46
マンジョカイモ	47,022	47,022	0	590,348	590,348	0	13
キャベツ	2,636	1,998	638	130,199	79,136	52,013	49
ほうれんそう	68	68	0	27,670	27,668	2	408
ねばり	243	243	0	60,330	60,330	0	248
レタス	1,502	1,502	0	118,683	118,628	55	79
パセリ	168	168	0	56,961	56,779	182	338
セロリ	19	18	1	2,486	2,383	103	134
カリフラワー	71	67	4	3,598	3,018	580	122
はくさい	299	290	9	34,314	32,922	1,392	116
せり	58	58	0	12,324	12,324	0	213
にんにく	89	60	29	24,095	14,955	9,140	272
きゅうり	233	279	4	20,879	19,971	908	74
なす	85	85	0	6,547	6,514	33	77
トマト	18,898	16,162	2,736	1,116,281	833,688	282,593	59
かぼちゃ	3,304	2,527	777	112,303	69,111	43,192	27
かぼちゃ	205	203	2	11,875	11,727	148	58
ピーマン	2,554	2,149	405	237,062	197,017	40,045	101
ささげ	54	48	6	4,675	4,198	477	87
そらまめ	337	337	0	28,220	28,220	0	84
いんげん	151	151	0	15,901	15,901	0	105
さやえんどう	416	416	0	48,443	48,342	101	116
とうもろこし(生)	1,272	1,261	11	24,419	23,975	444	19
かぼ(丸)	352	352	0	28,594	28,594	0	81
(果実)							(40)
みかん	1,897	993	904	55,151	25,027	30,124	29
オレンジ	20,855	9,531	11,324	540,534	175,036	365,498	26
レモン	509	488	21	14,579	12,466	2,113	29
グレープフルーツ	1,303	1,297	6	17,919	17,919	0	14
バナナ(カラッパ)	12,239	12,214	24	360,510	359,477	1,033	29
バナナ(オロ)	4,211	4,205	6	272,205	271,633	572	65
りんご	1,249	2	1,248	197,591	103	197,488	158
なし	247	2	245	38,482	293	38,189	156
もも	51	13	38	9,321	2,471	6,850	183
すもも	37	20	17	9,600	4,068	5,622	265
ぶどう	157	110	47	34,580	21,663	12,917	220
いちじく	91	57	34	17,320	12,239	5,021	190
パイナップル	87	7	80	9,153	703	8,450	105
パイナップル	4,031	3,561	470	139,819	153,134	36,685	47
メロン	1,373	1,238	135	136,395	122,616	13,779	99
すいか	2,372	2,308	64	102,733	98,726	4,057	43

第3章 品質管理技術

暫定実施スケジュール（R/D）

年次	内 容 項 目
1 年次 (1982年)	(1) 品質管理技術の問題点の摘出及び検討 (2) 品質管理の基礎的技術の指導
2 年次 (1983年)	(1) 品質管理技術に関する指導助言 1) 格付技術 2) 選果技術 3) 包装技術 4) 食品衛生知識 5) 冷凍冷蔵技術
3 年次 (1984年)	同 上
4 年次 (1985年)	(1) 品質管理に係わる指針の作成

関連機材供与（計画）

機 材 名	数	年	備 考
(1) 大型冷蔵施設	1所	1984	84年8月(済)
(2) 動力式大型形状選果機（トマト、オレンジ用）	1台	〃	
(3) 〃 重量 〃 （トマト用）	〃	〃	
(4) 〃 ワックス洗滌機（オレンジ用）	〃	〃	
(5) 動力水洗機（土物用）	4台	〃	
(6) 動力パッケージ	3台	〃	
(7) デジタル計量機	60台	1985	

(注) この計画は、事前調査段階による。

1. 出荷規格改善の問題点と基本的考え方

はじめに

- (1) 選別基準の設定
 - 1) 基本的考え方
 - 2) 設定の基準
 - 3) 選別の具体化
- (2) 量目基準の統一
 - 1) 基本的考え方
 - 2) 軽量化への方向
 - 3) 自然減耗相当分の徹底
- (3) 荷造り包装
 - 1) 基本的考え方
 - 2) 容器の基準
 - 3) 表示事項
- (4) 容器調達の合理化
- (5) 出荷規格の推進
- (6) 青果物出荷規格委員会の運用
 - (付) 選果機, 包装機, 調査研究(計画)

参 考 資 料

- (1) 調査研究(果重, 長径, 高さの実測値)
- (2) 出荷規格実施スケジュール
- (3) 規格基準表
- (4) アスンシオン青果物出荷規格委員会(規程)
- (5) 委員会委員名簿
- (6) 委員会開催状況
- (7) 議事内容のあらまし

はじめに

- 1) この国の青果物出荷規格の現状からみて、その立遅れが流通的課題となっている中で、中央卸売市場の車の両輪の一つとなっている産地段階において改善を進めることが、流通改善を図るうえで緊急かつ重要な焦点となっている。
- 2) 現在の中央卸売市場での卸売販売の青果物取扱商品は、産地段階の未発達、無理解が慣行化されていることもあって荷姿、品質、形状等さまざまなものがきわめて多い。これは、大量を扱う卸売業者の即日販売等に多大な不都合を生じ、ひいては公正な価格形成の実現を阻害している要因ともなっている。
- 3) 生産者の中のごく一部には（アスンシオン市近郊の日系人）最近、この改善に自ら取り組み着々成果をあげている例もある。しかし、一方慣行的手法に象徴されるように、改善努力への意欲が十分でないものが圧倒的である。したがって、中央卸売市場においても、産地全体の課題としてとらえ、その推進のため格段の努力を払う必要がある。
- 4) 出荷規格改善の原点は、出荷が効率的で、かつ流通の改善に寄与しうるものにしたいという生産者の期待にある。これにこたえた産地段階の自主的な改善努力があつてこそ、生産者の理解が一層深まり、規格改善をより実のりあるものとすることができる。
- 5) しかし、一方ではこの改善がなかなか進まない要因も多い。これは永年培われた慣習にとらわれている面があるほか、生産者の取組み姿勢も勢い消極的である。これらさまざまな事情が重なって、改善努力の障害となっていることが少なからずある。
- 6) このような事情を背景に、中央卸売市場管理局としては、改善の将来展望を示すため、現状の立遅れを抜本的かつすみやかに見直しを行う必要がある。その際、産地段階の自覚において実施すべきは、できる限り自主性に委ねて実施することを基本として見直しを行うべきである。
- 7) 産地段階としても、この面の取組み姿勢についての意見を形成しつつ格付、選果及び包装等についての品質管理技術の確立に努めなければならない。また、その推進のため中央卸売市場管理局としても産地段階の実態に留意しつつ、適時、適切な指導を強化する必要がある。一方、場内の卸売業者に対しても、規格改善への推進に一段と努力を払うよう随時、格段の指導が重要である。
- 8) 出荷規格の改善は、単に出荷者及び卸売業者の効率化の問題にとどまらない。より基本的には、中央卸売市場と地方産地の在り方の見直し等の問題であり、これらの改善をさらに推進していく必要がある。その一環として設置された青果物出荷規格委員会においては、引き続き全面的な見直しの作業を進めているところであり、今後の運営に格段の期待をよせている。

(1) 選別基準の設定

1) 基本的考え方

中央卸売市場に入荷している青果物は、日本のように品質による等級区分（秀，優，良等）や、

大きさによる階級区分(大, 中, 小等)はほとんどなされておらず, 産地における無選別出荷が慣習化されている。

しかし, 現状でも一部の品目, 例えばトマトは品質, 大小を考慮した5区分, バナナは, A, B, Cの3区分(価格差を考える)。なお, いちご及びすももにも大, 小の区分がみられる。しかし, これらの選別区分ととも, 多くは出荷者個々の主観的尺度によっているため, 選別されたといえども, まちまちな商品となっているのが一般的である。

本来, 等級及び大小区分によって厳密に選別された商品は, それだけ労力等コストが加重されているが, 当然に高値販売が実現されようし, これに反して選別の不良な商品は安値にたたかれるという, 自由競争原理が機能するという現実を理解すべきであろう。

中央卸売市場にバラ積みで入荷し, バラのまま山積みされているオレンジは, 卸売段階の取引さでは大小込み100個単位となっているが, スーパー等の小売段階では1箇単位(価格表示)の販売が慣熟している。これは, 規格化のきわめて遅れているものの典型であり, この規格化はより困難性を伴うようである。しかし, 取引の近代化, 高位商品化の実現のためには, 規格化が必須条件と考えるべきは, 他の品目にも共通していえることである。

2) 設定の基準

出荷規格における選別規準は

- ① 品位規準(品質による等級区分)
- ② 大小規準(重量及び形状による階級区分)

の2つである。この基準の設定にあたっては, できるだけ簡素化(区分をできるだけ少なくする)の方向で検討することが, この国の実状に即応するものと考えられる。

(品位基準)

品位基準については, 品目ごとに最低基準を設け, この基準以上を合格品とする。また, この基準は数値で示すことができないので, 文章をもって表現した基準とならざるをえない。各品目共通の項目としては色沢, 形状および腐敗, 変質(病虫害汚染傷害等)であり, さらに品目毎の特性に応じた基準(例えば抽苔, 結球, 乾燥度合等)を設ける必要がある。この場合, 特に用語の解釈の統一を期せねばならない。

なお, 栽培技術水準等の差(例えば日系人と現地人)による品質差の著しい場合もあるので, 「優・良」又は「A, B」の等級区分を必要とする品目については, 特に十分な検討が必要である。

(大小基準)

これは生産物個々の重量または形状(果の長径の長さ)による大きさの基準である。この区分は品目によって異なるので, その特性を十分考慮して選択することとなる。特に果実では重量区分によると玉揃いが不齊一となり易い。なお, この区分は, 機械選果機を導入する場合に, 重量選

<例>

規格基準 - 1

品目		たまねぎ						
品種	荷姿	正味重量 (Kg)	1個の大きさ(g)			1容器の個数		
			大	中	小	大	中	小
バレンシア	網袋	25	300	250	100	85 (長径) 12cm	100 12~6	260 6cm以下
バビア(参考)	々	20	250	170	80	80	120	250
品質	(1) 同一品質で品種固有の形状、色沢ともに良好 (2) 玉じまり、玉ぞろい共に良好							
大きさ区分	大・中・小の3区分							
調整・選別	(1) 土をよく落とし、汚れた外皮を除き、葉梢及び根を十分にとる。 (2) 十分乾燥する。特に冷蔵保管用に注意する。 (3) 抽苔していない萌芽のないもの。 (4) 腐敗、変質、奇形、玉割れ、病虫害、損傷など混入しない。							

規格基準 - 2

品目		トマト						
品種	荷姿	正味重量 (Kg)	1個の大きさ(g)			1容器の個数		
			大	中	小	大	中	小
リサ	木箱	9.5	300	150	90	35	65	110
		17				60	110	190
品質	(優) 品質、形状、色沢及び玉揃えとも良好。 (良) 品質、色沢が優に次ぎ、形状にやゝ変形あり。							
大きさ区分	大・中・小の3区分							
調整・選別	(1) 品種区分を正確に行い、異品種を混入しない。 (2) 大きさ、着色、熟度を揃える。 (3) 詰め方を密にし、満杯詰めとする。							

<注> 1) トマトには、優、良の等級区分を設ける。

2) 「1個の大きさ」は標準的のもの、1容器の個数は目標概数である。

果機とするか、形状選果機とするかに関係してくる。

大小区分は、原則として「大」「中」「小」の3区分が適切と考えるが、この国の事情からみれば2区分（大、小）のものも考えられる。この区分は品目ごとに設定されるものであるが、同一品目であっても品種差の著しいものについては、品種別基準を設定しなければならない。

(注) トマトのLiSA(リサ)(大玉品種)は大・中・小の3区分、SANTA CLUS(サンタクルス)(小玉品種)は大、小の2区分とするのが適切であると考えられる。

3) 選別の具体化

品質による等級区分及び大小による階級区分のほか、選別、調整については具体的に下記のように品目ごとに記述する。

<例> 異品種を混入しないこと。大きさ、着色、熟度を揃えること。土砂を落とす。乾燥を十分に。風乾する。果梗を短く切ること。水洗いする。葉柄を除去する。茎を短く切る、腐敗、変質、奇形等のないこと。詰め方は密(満杯詰)にする。ことなどである。

(2) 量目基準の統一化

1) 基本的考え方

1 容器に詰められるであろう量目(重量・kg)は、箱詰めおよび袋詰めいずれの場合でも、現状では品目ごとの基準が明確に設定されていないので、同一品目、同一容器の量目にかかなりのバラツキがみられる。これは容器の規格が注文先の製作段階ごとで若干相違していること。また、袋については大半が他の商品で一度使用されたものを再使用(いわゆる中古品で割安)していることなど容器の不統一にも起因している。

一方、容器には「詰められるだけ詰める」という慣習が根強く定着している。これは容器のコストを節減するという意識によるものであるが、大玉は量目が少なくなり、小玉は多くなる傾向がみられる。したがって、容器の大きさを青果物全体で2~3種類に限定し、品目間で相互に使用できるよう抜本的に改めると同時に、品目ごとの適正な量目基準を設定すべきである。

さらに、卸売業者が売場に台秤を備えて相対販売ごとに計量しているのが圧倒的である。このことは、短時間に荷捌きすることの煩雑さ、さらに労力の加重など取引きの迅速性、効率化をさまたげているだけでなく、顧客に対する出荷者の信用にもかかわっているのである。

2) 軽量化への方向

① 一般に荷詰された容器の重いことは、車輛への積み下ろしの過程で荷傷みを生ずるおそれがある。この国での積み下ろし作業のほとんどが人力に依存しているが、左程の支障はないと意識している。しかし、取扱いの簡素化及び適切な品質管理の面からも検討が必要である。

② 青果物を満載した車輛が、舗装されない悪路を、また舗装された幹線道路でも随所にみられる破損箇所をかなりの速度で走行をつづける。このように、この国の道路事情で輸送される青

果物は、通常容器の圧縮、衝撃及び極度の振動によって、重いものほど荷傷みが促進される要因ともなる。

- ③ 卸売販売については、小型商品への取引態度が徐々ではある芽ばえている。これは包装容器のまま消費者の手に渡るといふものである。イチゴはすでに籠入り 500 ㄑ ものが一部扱われているが、ブドウおよびスモモについても 5 Kg 入り容器が本年から出荷されはじめている。
- ④ トマトの現行量目は 1.8 ~ 2.0 Kg 箱詰めである。これを新たに約半量の 1.0 Kg 箱詰め量目の商品に前進させる。これは、この国にとって画期的な進展である。しかも、ここ 3 ~ 4 年の間に現在使用している箱を順次替え、なお、現在の「通い箱方式」から「使い捨て方式」に切替えるという。このことは、卸売業者の圧倒的意見で合意をみたので、本年 11 月出荷から試行段階としてスタートすることとなっている。ただ、経過的には通い方式によるものと併行していくことが前提となることはいうまでもない。

3) 自然減耗相当分の徹底

野菜および果実等の青果物は軟弱ものが多いだけに、輸送—卸売—小売の各段階での減耗のはげしい商品である。このため産地の出荷者は、これら自然減耗相当分（入目）を考慮して荷詰めしなければならない。

（注）減耗量は全体の「5%増」が通常の目標であるが葉茎菜類は 10%程度ともいはれ品目によって異っている。

この基準について早急に実態を把握し、品目ごとに決めておく必要がある。なお、これと関連して「正味重量」を品目ごとに統一的にきめて明記することを徹底させることが最も重要である。

これは、いうまでもなく中央卸売市場における卸売時点で数量が確保されることとなる。したがって個々に計量する手間が省け、取引きの迅速化が実現される。

(3) 荷造り包装

1) 基本的考え方

荷造り包装は、品質管理上きわめて重要な事項である。品傷みの激しい商品の管理、商品性の向上及び流通の近代化を図るため、十分な研究、検討が必要である。

包装の単位は、量目基準と密接な関係にあり、包装容器の基準が統一されることが前提条件となる。現在使用されている木箱及び袋については、その製品コストの節減を目途に基準を設定する。なお、プラスチック、ダンボールの普及は、この国では資材が全く輸入に依存していることなどにより価格高であるため、当面はきわめてむずかしい。したがって、豊富でかつ低廉な木材による木箱が最適である。

2) 容器の基準

木箱は産地 ⇄ 市場 ⇄ 小売（市場、店舗）で反覆使用する「通い容器」である。この箱の所

有者は中央卸売市場の卸売業者であるが、前述したように、近い将来は全面的に「使い捨て方式」(木箱)に切替えることが考えられている。この場合は、中又は小型の箱が適切であると判断している。基準としてはトマト10kg入り容器とし、なお、他の品目たとえばスモモ、ブドウ等に共用できる規格とする。

(注) 品目共通箱の規格(寸法)

	長さ	幅	深さ	備考
	cm	cm	cm	cm
大型	54	36	23	現行
中型	54	36	15	改正

また、袋詰めで出荷される品目も多いが、使用する袋は①新しい袋を使用する品目の適用(例、たまねぎ)、②他で使用した空袋の使用を検討し規格(寸法)、材質(麻、ナイロン等)及び品目ごとの量目規準の設定が重要となる。特に、空袋の使用については抜本的に検討を重ねる。

3) 表示事項

包装容器に表示すべき事項は、

①品名、②等級(秀・優・良等)、③階級(大・中・小)、④正味重量、⑤出荷者名(又は番号)、⑥産地名

である。ただし、等級及び階級は品目ごとに統一して決めているものによる。以上の6項目について正確な記入を励行するよう常時指導督励する。

なお、容器の大きさ(寸法)は全卸売業者で一定のものに統一することを市場管理局で指示する。さらに、上記項目以外について宣伝普及のための用語等付記する場合は、各業者の自主性に委ねることとする。

(4) 容器調達の合理化

1) 現在、中央市場内の各卸売業者が使用している木箱の規格はほぼ統一されているようである。しかし、各卸売業者はそれぞれ容器の製造業者に注文し製造させているが、材質など若干の相違などから箱の強度及び軽重等まちまちであるのが現状である。そこで各業者とも同一仕様の容器に統一することがもっとも重要となってくる。

2) 本来、木箱は「通い容器」としてかなり経過しており、この国での流通形態として定着してきている。しかし、この通い箱の問題点として、

① 反覆利用するため強固であることが必要となり、このため箱の重量が加重される。

② 卸売業者が調達すべき数量は、一部生産者(出荷者)の手元に滞溜するもの(収穫用等に使用される)、紛失及び破損する場合も考慮すると相当なものとなる。

③ 箱の取り扱い管理一切（例えば発注，引取り，送り届け，回収及び一時的保存）に係わる
労力及びコストが加重される。

④ 調達，貸与及び修理等のための資金負担の問題。

等が指摘される。

場内の卸売業者は異口同音に「もう箱の管理などやっでいられない」という意識が充満し，もはや限界にきていることを伺い知ることができる。このことは，旧来の「通い箱」から「使い捨て」方式への転換を渴望していることを意味している。

この方式によれば，箱代は生産者（出荷者）の負担となるので通い箱の使用料負担（所有者である卸売業者より貸与される）より若干高めとなろう。しかし，同時に商品の規格化と併行させることによって，有利販売の実現が可能となり，相対的コストの低減が期待できると，卸売業者の自信の程が察せられた。

3) 以上のように容器仕様の統一化及び管理，資金両面の合理化，効率化をより一層進めていくことが重要である。このため，市場管理局は特定の容器製造業者を指定し，一定の仕様に基づく容器を製造させるため，全卸売業者の所要数量をまとめて一括発注する。製品は各卸売業者が随時直接受け取るというシステムに踏み切ることである。このことについては，既に卸売業者の合意を得ているので，本年11月出荷をメドとして一步踏み出すこととなっている。

なお，この方式だと大量発注による製品コストの低下が実現されよう。しかし，資金余力の少ない零細業者に対しては，一時的資金負担の軽減について格別の配慮が必要となつてこよう。

(5) 出荷規格化の推進

1) この規格基準は，この国の青果物（野菜，果実）で，生鮮のままアスンシオン市中央卸売市場を通じて住民に供給される取引規格である。したがって，同一品目であっても移出（例，トマトのアルゼンチン向け移出するなど）や，加工用に仕向けられるもの，さらには飼料用に供される場合等を除いたものである。ということを確認しておくべきである。

2) 設定された規格基準を遵守させるためには格段の推進努力が必要である。実施段階（品目別時期別参考表に示す）の開始時には，一時的に出荷者の意識等が混乱することも予想されよう。これらの困難を克服すべく徹底的指導を推進していく必要がある。特に，規格外商品についての扱い方，例えば適宜取引停止ないし罰則を設けて取締るか，減免措置を講ずるなど，より慎重に検討を重ね実施に万全を期すべきである。

3) また，一方では厳密に規格された商品は高値が実現されようが，この規格を守らない商品は安くたたかれるという価格形成の現実を直視すべきであろう。

このことは，将来，考えられるであろうセリ販売方式の導入だが，品目によってはすでにごく一部でその芽ばえがみられる。この現実に向けて規格化の促進に拍車をかけ，併せて開発研究を

も進める必要がある。

(6) 青果物出荷規格委員会の運用

アスンシオン市中央卸売市場管理局では、青果物出荷規格の設定に関する調査、検討するための組織として、生産者、卸売業者、小売業者、関係行政機関及び団体、さらに学識経験者からなる委員会（アスンシオン市青果物出荷規格委員会という）を設けている（1984年5月設立）。

この委員会では、品目ごとの規格基準等について審議することによって、その審議結果を実施に反映させるとともに、出荷者の意識の高揚を図るべきである。

なお、具体的に実施を推進するためには、現状の規格化傾向を踏まえて、実施可能な品目から検討し、順次拡大すべく計画的に作業に取り組むことを期待している。

この委員会は計画に合わせて定期的に、また、必要の都度随時開催するなど弾力的に運用を図るべきである。

(付)

(1) 選果機

（事前調査段階のコメント）

冷蔵庫と同様に、供与後も再調達できるよう減価償却費及び維持修繕費を勘案して、利用料金を設定し利用者から徴収した方がよい。

また、単なる展示にとどまらず将来は、産地の出荷団体等に普及させて利用することを考慮すべきである。しかし、当面はスーパーマーケットの発展に備えて、中央卸売市場内の卸売業者が無選別、無規格の入荷商品について等級、規格を行って販売することを考慮のうえ、機種及び機数を決定することである。

このように、中央卸売市場においては、あくまで「展示」目的とした使用を念頭におくべきである。したがって、供与機器としては種類等も最少限度に制約されるものであろう。

なお、機器の展示利用の対象は、中央卸売市場内の卸売業者が主体となる。これら卸売業者が産地から出荷された無選別、無規格の商品について実施するものであり、この機器の利用効果ならびに展示効果は、この国にとって全くはじめてのことでもあり、多大の期待感もたれている。

（実施段階における考え方）

近々、日本製選果機が供与されることになっている。そこで、この機器の具体的利用方法を検討する必要がある。みかん、オレンジ、レモン、グレープフルーツ等のかんきつ類は、産地で買付け、集荷してトラックによるバラ積み形態のまま中央卸売市場に入荷しているのが殆んどである。

このようにして入荷してくる商品に対して入場 — 選果 — 荷造り包装までの一貫作業を実施

したうえ上場する建前とする。これと併行して一部の調整保管を兼ねて、場内に新設された冷蔵庫を利用することによって、翌日以降の上場、販売とするなどはその一例である。なお、以上の品目のほか、ばれいしょ、たまねぎ、にんじん等が利用対象となろう。

ただ、既に産地から荷造り包装したものについて選果機にかけることとの問題点についての具体策についても、慎重に検討することが最も重要である。

(2) 包装機

(事前調査段階のコメント)

近年、アスンシオン市の消費者の動向は、スーパーマーケット等の大型小売店に客足が多くなっている。また、スーパーの発展は益々著しく、包装して小売りするものの比重が増している。したがって、中央卸売市場の卸売業者がその納入のために包装を必要とするので包装機の導入が望まれるようになっている。なお、この機器についても選果機と同様に再調達のための減価償却と保守管理の費用として使用料金を徴収する必要がある。

(実施段階における考え方)

選別機と同様に「展示」効果を期待するものである。利用対象者である場内卸売業者も制約されてこよう。今後の動向を注視しながら、導入の可否について再検討すべきであろう。

(調査研究計画)

果実の嗜好性に関しては、この国においても徐々ではあるが高級化が進んでいる。優良品は高値で販売されることもあって、生産者の意欲を向上させつつある。その一例はスモモおよびブドウである。国内消費は増えつつあるが、まだ隣国アルゼンチン、ブラジル産への依存度が高く、量的にも質的にも若干の見劣りがする。しかし、近年スモモの品揃え(着色、形状、味等)、ブドウの品種交新(巨峰の増反)への胎動がみられる。このように、国産化の風潮が随所に高まりつつあると同時に、良質物への生産意欲が強まっており、早晩、国産品と国外品との品質差による競合が激化されようとしている。

そこで、良品質一品揃えと品質(着、味等)をよくすれば、必ず伸びるという商品の鉄則に徹し、潜在需要にも注目すべきである。したがって商品性を高めるためには品質はもとより規格、包装、容器(大、小)などの工夫がさらに重要だという理解も急速に進展しつつある。

そこで、下記に着目して調査研究を試みることである。

- 1) ブドウ(巨峰)、スモモ — 1984年12月、いちご — 1985年8月
- 2) 容器は可能な限り小型、包装の充実
- 3) 卸売業者(日系)による販売実績(生産者2~3名、50~100箱)

ポイント

- ① 消費者層の購買態度(持帰り品として)
- ② 卸売価格形成(検照)

③ 荷造り包装等のコス高と販売価格の連動性（小売価格も含める）

④ 量的には希小であるが、卸売サイドの意識は（説明）

参 考 資 料

(1) 調査研究（果重、長径、高さの実測値）

(1) トマト

	品 種 L i S A				SANTA CRUZ	
	大	(%)	中	(%)	中	(%)
1 個 重 量 (g)	200	61	100	30	40	19
	250	25	120	23	50	44
	300	7	130	25	60	29
	350	7	140	17	70	8
	計	100	160	5	計	100
長 径 (cm)	7	13	6	66	4	70
	8	50	7	34	5	30
	9	32				
	10	5				
	計	100	計	100	計	100
高 さ (cm)	6	64	5	80	4	16
	7	36	6	20	5	84
	計	100	計	100	計	100

(2) ピーマン

	大	(%)
	1 個 重 量 (g)	90~
70~80		20
~70		18
計		100
長 径 (cm)	4~	69
	~4	31
	計	100

(3) きゅうり

	大	(%)
	1 個 重 量 (g)	200~
~200		20
計		100
長 径 (cm)	5	20
	4	80
	計	100

(4) にんじん

	大	(%)
	1 個 重 量 (g)	100~
50~90		52
計		100
長 径 (cm)	3~5	100

(5) なす

		(%)
	1 個 重 量 (g)	~300
250		43
計		100
長 径 (cm)	8	28
	7	57
	~7	15
	計	100

(6) だいこん

		(%)
	1 個 重 量 (g)	300~400
400~500		75
計		100
長 径 (cm)	4~	80
	~3	20
	計	100

注 委員及び事務局職員が中央卸売市場で実測した結果である。

(2) 出荷規格実施スケジュール

品目	出回り最盛期	1984年					1985年												1986年							
		8月	9	10	11	12	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1月	2	3	4	5	6		
1 たまねぎ	10~12月																									
2 トマト	〃	斜線	○	点線																						
3 ピーマン	〃	斜線	○	点線																						
4 すもも	11~12																									
5 メロン	1~3																									
6 バナナ(オロ)	〃	斜線	○	点線																						
7 レモン	〃																									
8 みかん	5~7																									
9 オレンジ	6~10																									
10 いちご	8~10																									
11 だいこん	8~11																									
12 にんにく	〃																									
13 にんじん	9~12																									
14 バナナ(カラッペ)	〃																									
15 ばれいしょ	10~12																									
16 キャベツ	〃																									
17 すいか	〃																									
18 かぼちゃ	〃																									
19 小かぼちゃ	〃																									
20 ぶどう	11~12																									
21 パイナップル	1~3																									
22 かんしょ	〃																									
23 きゅうり	〃																									
24 なす	〃																									
25 レタス	3~5																									
26 ほうれんそう	5~6																									
27 グレープフルーツ	5~8																									
28 マンジョカイモ	6~9																									
29 さやえんどう	7~9																									
30 もも	11~12																									

- <注> 1) 規格基準(次表)の作成は3か年で30品目を目標とする。なお、残余の品目についても重要度に応じて追加する。
- 2) 準備期間内に規格基準を作成(2か月以内)する。この間必要な調査研究も行う。作成完了後出荷委員会にて審議し、関係業者での準備体制を整え、実施開始期より順次新規格への移行を推進する。

(3) 規格基準表

品目	品種	荷姿	正味重量 (Kg)	1個の大きさ (g, cm)				1容器の個数				作成時期 (完了)
				(特)	大	中	小	(特)	大	中	小	
1 たまねぎ	バレンシア	袋	25		300	250	100		85	100	260	1984年8月
2 トマト	リサ	箱	9.5		300	150	90		35	65	110	
	〃	〃	17						60	110	190	
	サンタクルス	〃	16		150	85	50		110	190		
3 ピーマン												
4 すもも												
5 メロン												1984年10月
6 バナナ	オロ											
7 レモン												
8 みかん												1985年2月
9 オレンジ												
10 いちご												1985年5月
11 だいこん												
12 にんにく												
13 にんじん												
14 バナナ	カラッペ											1985年8月
15 ばれいしょ												
16 キャベツ												
17 すいか												
18 かぼちゃ												
19 小かぼちゃ												
20 ぶどう												1985年11月
21 パイナップル												
22 かんしょ												
23 きゅうり												
24 なす												
25 レタス												1986年8月
26 ほうれんそう												
27 グレープフルーツ												
28 マンジョカイモ												
29 さやえんどう												
30 もも												

cmは長径

86年8月まで段階的に作成する。

(4) アスンシオン市青果物出荷規格委員会（規程）

（目 的）

青果物の生産，出荷の合理化，商品性の向上及び取引の公正，円滑化を図ることを目的として，青果物のお荷規格を設定するため，この委員会を設置する。

（構 成）

1. この委員会の委員長は，市場管理局技術部長である。
2. この委員会の委員は，市長が任命する。
3. 委員の構成は，つぎの通りである。

- ① 青果物卸売業者
- ② 青果物小売業者
- ③ 青果物生産者
- ④ 関係団体の役職員
- ⑤ 学識経験者
- ⑥ 市場管理局職員

市場管理局技術部長は委員長を兼ねるものとし，委員は20名以内をもって構成する。

（任 期）

委員の任期は2年とする。たゞし補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

（召 集）

この委員会は，委員長が招集する。

（会 議）

委員長は会議の議長となり，会議を総括する。委員長に事故あるときは，あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

（部 会）

必要があるときは，この委員会に部会を設けることができる。

（幹 事）

この委員会に幹事若干名をおき，委員長が任命する。

幹事は委員長の命をうけて会務を処理する。

（事務局）

委員会の事務局は，市場管理局におくこととし，委員会に係わる諸資料の作成及び規格の設定等に関する業務を処理する。

(5) 委員会委員名簿

1984年5月現在

	No.	氏 名	備 考
委 員	1	GERARDO LOPEZ	市場管理局技術部長
卸 売 業 者	2	FUCHIWAKI (湧脇)	野菜専門(中央市場)
〃	3	ISMAEL ROJAS	果実専門(〃)
小 売 業 者	4	CALROS MARTINEZ	小売市場(No.4)
〃	5	OSCAR JIMENEZ	露天商
〃	6	CALROS STORN	スーパーマーケット
生 産 者	7	GODA (合田)	野菜(イグアス農協)
〃	8	MITUI (三井)	果実(コルメナ農協)
〃	9	MANFREDO	農家
学 識 経 験 者	10	EDUARDO AMTUNA	農政省
〃	11	HONORINA DE MARSAL	商工省
事 務 局	12	RUIZ DIAZ	市場管理局
〃	13	WILERIDO AMARILLA	〃

(注) 関係業者については必要に応じさらに追加する予定。

(6) 委員会開催状況

回	期 日	議 事
第 1 回	1984. 6. 4	1 委員会(規程)について 2 委員の委嘱について 3 出荷規格(具体的検討事項) 4 生産者出荷基準の考え方 5 その他
第 2 回	〃 6.18	1 計画作成と実施スケジュール 2 規格基準(たまねぎ, トマト, ピーマン, スモモ) 3 量目の決め方 4 その他
第 3 回	〃 7.23	1 調査研究結果(標準重量) 2 規格基準(検討, 前回続き) 3 その他
第 4 回	〃 10. 5	1 4品目規格基準(再検討) 2 実行上の留意点 3 その他

(7) 議事内容のあらまし

- 規格基準の計画作成と実施スケジュールの中でタマネギ、スモモは10月中頃から出荷するが、11月から一斉にスタートする。実行前に卸売業者、出荷者に十分認識してもらうよう始めてのことであるから慎重を期すべきである。
- トマトに広く使用している大箱(18~20Kg入り)にはピーマンは13Kg入りとなる。また、中箱(新規で10Kg入り)では7Kg入り程度となる。本来、箱は品目別専用ではなく、できるだけ一つの容器を多品目で共用できるようにしたい。この場合、入れる品目ごとに量目として「正味重量」を统一的に決めることが必要である。
- スモモ、ブドウについては、現行の10Kg箱にさらに5Kg箱程度のものを新規に、また、マンジョカいもの90Kg入り(袋)は大き過ぎるので70%位にしてはどうか。なお、前記果実の5Kg箱については試験的に特級品専用として普及していく。

また、マンジョカいもは一定した容器でなく、米、砂糖などで使った袋を利用している。これは、かなり割安であるのがネライである。大ききの縮少には、かなりの抵抗があろう。息の長い検討事項の一つである。

- 現在、スモモ、ブドウは10Kg入り箱付きで販売しているが、トマトやピーマンの場合はどうか。(箱付きではコスト高となるが、箱の回収は困難性が加わる等両面の意見が続出)。

結論として果実と同じように小箱の10Kg程度のもは箱付きで販売して回収しない。この場合、本当に「特級品」だけについて適用することから始めてはどうか。

特に、スモモに関しては、国内産でも品質がよく、アルゼンチン産に決して劣らず競争できる。なお、ことしの出回期(11月~12月)から冷蔵保管(1~1.5カ月)の試験を予定している。さらに、5Kg入り小箱までも検討している。

- タマネギの階級区分(大・中・小)については当初は「大」「中」の2区分にとどめ、「小」は考えないことではどうか。選別技術がむづかしいのと、慣れないことなど考慮しなければならない。(もっとも、選別機の利用の時点で再考する)

- 目減りを見込んだ分を余分に上乘せした — 表示重量は何をさすのか。荷詰めした量(俗にいう量目)より「正味重量」として表示するのがよい。例えば10Kg入り(箱)トマトの場合、10Kg程度に荷詰めしたものを、正味重量9.5Kgと明記する。(これについてはかなり議論が続出した)

この正味重量は同一品目については全出荷者とも同一でなくてはならない(統一化)。農協等組合以外の出荷者にはより一層認識させなければならない。また、中央市場の卸売業者段階では厳しくチェックすることが大切なことである。

要するに小売及び消費者段階で、中味が正味重量を確保しているか。つまり、下回っていないかということがメド。

○ 生産者段階では、例えばタマネギの青い未熟段階のものや、乾燥しないまま出荷する場合もみられる。この結果は卸売小売の段階で“目減り”しまっている。このことを考慮した容器のサイズを決める必要がある。

この点についてブラジルの例では、ある程度の許容範囲を設けている。また、アルゼンチンでは収穫に際して適度な成熟度合を要求し、これに反する場合は、取引の対象としないという処置をとっている。

だが、この国では組合としても、こうしたコントロールをとることは容易ではないともいう。他方、卸売業者が出荷者に対してとるべき方途は別に考えられよう。

○ タマネギ（袋入り）は2.5kgとすべきか2.0kgにすべきか相当の議論が繰り返された。

なるべく小型化の方向をとるべきだとの論理も、ことタマネギに関しては、慣行を重視するというので2.5kg詰め（たゞ正味重量である）の結論に到達した。

○ タマネギは「大」「中」の2階級区分とするが、混ぜ合わせた無選別も設け、従来通りの取引としてもよいとの一部意見もあった。検討に値しよう。

○ トマトの小型化（1.8～2.0kgを1.0kg程度とする）は、輸送過程における荷傷みの防止に役立つ。また、取扱上の軽便さも強調される意見が圧倒的である。

○ 小型化は箱代の割高、包装作業量の加重等が考えられなければならない。これが“使い捨て”方式の導入に係わってくることできわめて重要視すべきだ。

○ 新しい規格基準に移行するためには、組合は勿論のこと広く出荷者、さらには関係業者等の理解を求め、一体となって推進していくことが重要である。なお、長年の慣習から脱皮して、これになじむようにすることであろう。